

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

—— グループによる生活指導の実態 ——

梶 田 正 巳 杉 江 修 治¹⁾ 塩 田 勢 津 子²⁾
 石 田 裕 久³⁾

I 問題と方法

われわれの主要な関心については、既に述べたところである。ここでは、グループによる生活指導の実態を調査的方法によって、明らかにする。生活指導の概念を、

必ずしも明確に定義することは容易ではないが、一般的には、学校教育の中で教科の指導を中心とする学習指導を除いた、その他の指導として規定されている。われわれの関心は、生活指導の概念規定にはないので、これまでの習慣にならい、このような指導領域において、どの

表1-1 生活指導領域での分析対象被検者内訳（小学校の場合）

				教 職 経 験 年 数				性 別	
				5 年未満	5～14年	15～24年	25年以上	男	女
全 体	低 学 年	(N = 68)	15(22.1)	27(39.7)	7(10.3)	19(27.9)	21(30.9)	47(69.1)	
	中 学 年	(N = 78)	20(25.6)	24(30.8)	14(17.9)	20(25.6)	33(42.3)	45(57.7)	
	高 学 年	(N = 71)	13(18.3)	28(39.4)	17(23.9)	13(18.3)	39(54.9)	32(45.1)	
グ ル ー プ 活 動 項 目 へ の 回 答 者	低 学 年	ホームルーム	(N = 25)	7(28.0)	10(40.0)	4(16.0)	4(16.0)	7(28.0)	18(72.0)
		朝の会	(N = 29)	3(10.3)	11(37.9)	2(6.9)	13(44.8)	9(31.0)	20(69.0)
		婦りの会	(N = 35)	3(8.6)	17(48.6)	2(5.7)	13(37.1)	10(28.6)	25(71.4)
		給食・清掃	(N = 67)	15(22.4)	27(40.3)	7(10.4)	18(26.9)	20(29.9)	47(70.1)
		係活動	(N = 60)	13(21.7)	22(36.7)	7(11.7)	18(30.0)	18(30.0)	42(70.0)
		遠足	(N = 52)	12(23.1)	19(36.5)	7(13.5)	14(26.9)	18(34.6)	34(65.4)
		修学旅行・野外演習	(N = 9)	5(55.6)	1(11.1)	2(22.2)	1(11.1)	3(33.3)	6(66.7)
	中 学 年	ホームルーム	(N = 36)	11(30.6)	13(36.1)	9(25.0)	3(8.3)	19(52.8)	17(47.2)
		朝の会	(N = 46)	10(21.7)	16(34.8)	8(17.4)	12(26.1)	21(45.7)	25(54.3)
		婦りの会	(N = 46)	10(21.7)	15(32.6)	9(19.6)	12(26.1)	22(47.8)	24(52.2)
		給食・清掃	(N = 78)	20(25.6)	24(30.8)	14(17.9)	20(25.6)	33(42.3)	45(57.7)
		係活動	(N = 70)	18(25.7)	21(30.0)	12(17.1)	19(27.1)	30(42.9)	40(57.1)
		遠足	(N = 74)	19(25.7)	22(29.7)	14(18.9)	19(25.7)	33(44.6)	41(55.4)
		修学旅行・野外演習	(N = 11)	2(18.2)	6(54.5)	0	3(27.3)	6(54.5)	5(45.5)
	高 学 年	ホームルーム	(N = 46)	9(19.6)	22(47.8)	9(19.6)	6(13.0)	19(41.3)	27(58.7)
		朝の会	(N = 37)	5(13.5)	16(43.2)	8(21.6)	8(21.6)	21(56.8)	16(43.2)
		婦りの会	(N = 38)	5(13.2)	17(44.7)	8(21.1)	8(21.1)	21(55.3)	17(44.7)
		給食・清掃	(N = 70)	13(18.6)	28(40.0)	16(22.9)	13(18.6)	39(55.7)	31(44.3)
		係活動	(N = 66)	12(18.2)	27(40.9)	15(22.7)	12(18.2)	36(54.5)	30(45.5)
		遠足	(N = 66)	12(18.2)	26(39.4)	15(22.7)	13(19.7)	36(54.5)	30(45.5)
		修学旅行・野外演習	(N = 65)	12(18.5)	26(40.0)	15(23.1)	12(18.5)	35(53.8)	30(46.2)

* Teaching methods in elementary and junior high schools II

2) 日本学術振興会奨励研究員

1) 中京大学助教授

3) 名古屋大学大学院教育学研究科博士課程（後期課程）

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

表2-1 生活指導領域での分析対象被検者内訳 (中学校の場合)

		教 職 経 験 年 数				性 別		
		5 年未満	5～14年	15～24年	25年以上	男	女	無 答
全	体 (N = 305)	50(16.4)	110(36.1)	109(35.7)	36(11.8)	227(74.4)	76(24.9)	2(0.7)
グ ル ー プ 活 動 項 目 へ の 回 答 者	ホームルーム (N = 250)	34(13.6)	99(39.6)	87(34.8)	30(12.0)	188(75.2)	60(24.0)	2(0.8)
	朝の会 (N = 138)	18(13.0)	51(37.0)	48(34.8)	21(15.2)	111(80.4)	27(19.6)	0
	帰りの会 (N = 176)	20(11.4)	66(37.5)	63(35.8)	27(15.3)	137(77.8)	37(21.0)	2(1.1)
	給食・清掃 (N = 293)	50(17.1)	110(37.5)	102(34.8)	31(10.6)	216(73.7)	75(25.6)	2(0.7)
	係活動 (N = 249)	31(12.4)	97(39.0)	92(36.9)	29(11.6)	184(73.9)	63(25.3)	2(0.8)
	遠足 (N = 283)	48(17.0)	104(36.7)	99(35.0)	32(11.3)	209(73.9)	72(25.4)	2(0.7)
	修学旅行・野外演習 (N = 252)	42(16.7)	92(36.5)	90(35.7)	28(11.1)	190(75.4)	61(24.2)	1(0.4)

ようなグループによる指導がなされているのかを検討していききたい。

ところで、生活指導の中には、さまざまな分野がある。本調査を進めるに当たって、以下のような7つの下位領域を設定し、それぞれの分野でどのようなグループによる生活指導が行なわれているのか、を調べた。下位領域は、1)ホームルーム、2)朝の会、3)帰りの会、4)給食・清掃、5)係活動、6)遠足、7)修学旅行・野外活動、の7領域である。そして、これらの下位領域について、グループによる指導をさまざまな角度から検討した。そこでは、主として、グループ活動の頻度、グループとリーダー、グループの構成の様態、グループ編成の基準、グループ活動の意義あるいは理由、グループ活動の成果(評価)、などを扱った。

調査方法は、先の「グループによる学習指導」で述べた通りであり、特に付け加えることはない。生活指導の調査は、学習指導のそれと同じ質問紙に分冊し調査されたものである。従って、郵送対象被検者、応答被検者、並びに被検者の地域分布については、先の報告と異なるところはない。しかしながら、分析の対象となった被検者(有効データ)は、特に中学校の場合は、学科担任制となっているのでかなり違っている。表1-1(小学校の場合)、表2-1(中学校の場合)の2表は、本報告の分析対象となった資料の内訳を示している。特に小学校の場合には、低、中、高学年による内訳の外に、それぞれの下位領域ごとの有効資料を示した。

Ⅱ 結果と考察

1. 小学生の生活指導

1) グループ活動実施頻度

生活指導領域の活動として本調査でとりあげた7種の活動それぞれについて、グループ活動をどれ程の頻度で用いたかをたずねた結果を、表1-2に示す。回答者の

担任・担当する学年に基づき、低学年、中学年、高学年に分けて集計した。

「ホームルーム」では各学年ともに、グループ活動を終始あるいはしばしば用いるとした回答は少ない。しかし、いずれかの頻度でグループ活動を行なうという回答は学年が進むにしたがって増大する傾向がみられた。「朝の会」と「帰りの会」の2活動は、類似した結果を示した。ただし低学年は「朝の会」では「帰りの会」よりもグループ活動を行なう割合が低い傾向を示した。その他の学年では、両活動で半数をこえる回答がグループ活動を用いるとしている。また、終始あるいはしばしば用いるとした回答は20%前後あり、「ホームルーム」に比べて活用頻度の高いことがうかがえる。「給食・清掃」では、総ての学年ではほぼ100%の教師がグループ活動を用いると回答した。しかも、終始あるいはしばしば用いるとする者の割合が90%以上と非常に大きい。「係活動」も、各学年で非常に多くグループ活動が用いられているという結果であった。ここではまた、学年がすすむにしたがい高い頻度への回答が増大するという傾向もみられた。「遠足」でもグループ活動は多く用いられている。頻度では、学年がすすむにしたがって、終始あるいはしばしば用いるとする回答が35%、55%、75%と次第に増加する傾向を示した。「修学旅行・野外演習」は、低、中両学年では実施されないため無答が多い。ただし高学年では87%と高い頻度でグループ活動を用いるという結果が得られた。

表1-2の結果は次のようにまとめられる。まず、生活指導領域の各活動では、頻度に差はあれ、グループ活動の用いられないことは少ないといえよう。活動別には、「ホームルーム」、「朝の会」、「帰りの会」に比べて、「給食・清掃」、「係活動」、「遠足」、「修学旅行・野外演習」で、グループ活動を用いる教師の割合、用いる頻度が明らかに高いことが示された。学年からみた傾向としては、学年がすすむにしたがって、グループ活動導入の割合と頻

資 料

表1-2 グループ活動実施の頻度〔Q1〕

学年	頻度 活動	終始あるいはしばしば	時々	稀に	小計	全く用いない	無答
低学年 (N=68)	ホームルーム	2(2.9)	14(20.6)	9(13.2)	25(36.8)	13(19.1)	30(44.1)
	朝の会	11(16.2)	7(10.3)	11(16.2)	29(42.6)	32(47.1)	7(10.3)
	帰りの会	14(20.6)	8(11.8)	13(19.1)	35(51.5)	25(36.8)	8(11.8)
	給食・清掃	62(91.2)	3(4.4)	2(2.9)	67(98.5)	0	1(1.5)
	係活動	44(64.7)	12(17.6)	4(5.9)	60(88.2)	6(8.8)	2(2.9)
	遠足	23(33.8)	19(27.9)	10(14.7)	52(76.5)	12(17.6)	4(5.9)
	修学旅行・野外演習	6(8.8)	1(1.5)	2(2.9)	9(13.2)	3(4.4)	56(82.4)
中学年 (N=78)	ホームルーム	3(3.8)	20(25.6)	13(16.7)	36(46.2)	11(14.1)	31(39.7)
	朝の会	17(21.8)	14(17.9)	15(19.2)	46(59.0)	28(35.9)	4(5.1)
	帰りの会	17(21.8)	17(21.8)	12(15.4)	46(59.0)	28(35.9)	4(5.1)
	給食・清掃	77(98.7)	1(1.3)	0	78(100.0)	0	0
	係活動	61(78.2)	8(10.3)	1(1.3)	70(89.7)	3(3.8)	5(6.4)
	遠足	43(55.1)	27(34.6)	4(5.2)	74(94.9)	3(3.8)	1(1.3)
	修学旅行・野外演習	5(6.4)	5(6.4)	1(1.3)	11(14.1)	0	67(85.9)
高学年 (N=71)	ホームルーム	6(8.5)	31(43.7)	9(12.7)	46(64.8)	9(12.7)	16(22.5)
	朝の会	14(19.7)	15(21.1)	8(11.3)	37(52.1)	31(43.7)	3(4.2)
	帰りの会	16(22.5)	12(16.9)	10(14.1)	38(53.5)	30(42.3)	3(4.2)
	給食・清掃	67(94.4)	3(4.2)	0	70(98.6)	1(1.4)	0
	係活動	57(80.3)	7(9.9)	2(2.8)	66(93.0)	3(4.2)	2(2.8)
	遠足	53(74.6)	11(15.5)	2(2.8)	66(93.0)	2(2.8)	3(4.2)
	修学旅行・野外演習	62(87.3)	3(4.2)	0	65(91.5)	1(1.4)	5(7.0)

表1-3 グループリーダーの有無〔Q2-(1)〕

学年	活動	有・無	リーダー有	リーダー無	無答
低学年	ホームルーム	(N=25)	19(76.0)	6(24.0)	0
	朝の会	(N=29)	18(62.1)	10(34.5)	1(3.4)
	帰りの会	(N=35)	23(65.7)	11(31.4)	1(2.9)
	給食・清掃	(N=67)	43(64.1)	23(34.3)	1(1.5)
	係活動	(N=60)	33(55.0)	25(41.7)	2(3.3)
	遠足	(N=52)	36(69.2)	14(26.9)	2(3.8)
	修学旅行・野外演習	(N=9)	7(77.8)	1(11.1)	1(11.1)
中学年	ホームルーム	(N=36)	27(75.0)	9(25.0)	0
	朝の会	(N=46)	35(76.1)	10(21.7)	1(2.2)
	帰りの会	(N=46)	35(76.1)	9(19.6)	2(4.3)
	給食・清掃	(N=78)	68(87.2)	10(12.8)	0
	係活動	(N=70)	52(74.3)	18(25.7)	0
	遠足	(N=74)	63(85.1)	11(14.9)	0
	修学旅行・野外演習	(N=11)	10(90.9)	1(9.1)	0
高学年	ホームルーム	(N=46)	40(87.0)	6(13.0)	0
	朝の会	(N=37)	24(64.9)	13(35.1)	0
	帰りの会	(N=38)	27(71.1)	11(28.9)	0
	給食・清掃	(N=70)	60(85.7)	10(14.3)	0
	係活動	(N=66)	56(84.8)	10(15.2)	0
	遠足	(N=66)	62(93.9)	4(6.1)	0
	修学旅行・野外演習	(N=65)	64(98.5)	1(1.5)	0

度が増大するという点をあげることができよう。

表1-3以降では、いずれの頻度であれグループ活動を用いるとした回答者についてのみ分析した結果を示した。

2) グループリーダーの有無

表1-3は、各活動で用いたグループに、リーダーを置いていたか否かについて質問した結果を、学年別に示したものである。

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

これによると、活動別には「遠足」、「修学旅行・野外演習」でリーダーを置く場合が多く（69～99％）、次いで「給食・清掃」でその割合が大きい（65～87％）。学

年別には、高学年になるにしたがい、リーダーを置くことが多くなる傾向がみられた。全般にリーダーを置いたという回答は多く、たとえば高学年では7つの活動中5

表1-4 グループリーダーの決め方〔Q2-(2)〕

学年	活動	決め方	予め生徒が決める	予め教師が決める	自然に生徒の間で決まる	一定時間後教師が決める	その他及び無答
低学年	ホームルーム	(N = 19)	8(42.1)	4(21.1)	4(21.1)	1(5.3)	2(10.5)
	朝の会	(N = 18)	7(38.9)	8(44.4)	2(11.1)	1(5.6)	0
	帰りの会	(N = 23)	11(47.8)	8(34.8)	2(8.7)	1(4.3)	1(4.3)
	給食・清掃	(N = 43)	17(39.5)	13(30.2)	4(9.3)	4(9.3)	5(11.6)
	係活動	(N = 33)	12(36.4)	8(24.2)	8(24.2)	3(9.1)	2(6.1)
	遠足	(N = 36)	15(41.6)	11(30.6)	5(13.9)	2(5.6)	3(8.3)
	修学旅行・野外演習	(N = 7)	5(71.4)	1(14.3)	0	0	1(14.3)
中学年	ホームルーム	(N = 27)	20(74.1)	3(11.1)	3(11.1)	1(3.7)	0
	朝の会	(N = 35)	23(65.7)	5(14.3)	4(11.4)	0	3(8.6)
	帰りの会	(N = 35)	23(65.7)	4(11.4)	5(14.3)	0	3(8.6)
	給食・清掃	(N = 68)	45(66.2)	5(7.4)	14(20.6)	1(1.5)	3(4.4)
	係活動	(N = 52)	31(59.6)	3(5.8)	13(25.0)	2(3.8)	3(5.8)
	遠足	(N = 63)	43(68.3)	6(9.5)	9(14.3)	1(1.6)	4(6.3)
	修学旅行・野外演習	(N = 10)	5(50.0)	3(30.0)	1(10.0)	1(10.0)	0
高学年	ホームルーム	(N = 40)	32(80.0)	2(5.0)	4(10.0)	0	2(5.0)
	朝の会	(N = 24)	14(58.3)	4(16.7)	2(8.3)	0	4(16.7)
	帰りの会	(N = 27)	16(59.3)	4(14.8)	3(11.1)	0	4(14.8)
	給食・清掃	(N = 60)	36(51.4)	5(7.1)	15(21.4)	1(1.4)	3(4.3)
	係活動	(N = 56)	36(54.5)	2(3.0)	15(22.7)	0	3(4.5)
	遠足	(N = 62)	43(65.2)	6(9.1)	9(13.6)	0	4(6.1)
	修学旅行・野外演習	(N = 64)	46(70.8)	8(12.3)	6(9.2)	0	4(6.2)

表1-5 グループリーダー交替の形式〔Q2-(3)〕

学年	活動	形式	グループ替えまで固定	グループ内で持ち回りで	時々に応じてかわる	その他及び無答
低学年	ホームルーム	(N = 19)	10(52.6)	2(10.5)	7(36.8)	0
	朝の会	(N = 18)	8(44.4)	8(44.4)	1(5.6)	1(5.6)
	帰りの会	(N = 23)	11(47.8)	9(39.1)	2(8.7)	1(4.3)
	給食・清掃	(N = 43)	22(51.2)	11(25.6)	9(20.9)	1(2.3)
	係活動	(N = 33)	14(42.4)	8(24.2)	10(30.3)	1(3.0)
	遠足	(N = 36)	17(47.2)	3(8.3)	15(41.7)	1(2.8)
	修学旅行・野外演習	(N = 7)	4(57.1)	0	3(42.9)	0
中学年	ホームルーム	(N = 27)	20(74.1)	2(7.4)	5(18.5)	0
	朝の会	(N = 35)	19(54.3)	13(37.1)	3(8.6)	0
	帰りの会	(N = 35)	18(51.4)	13(37.1)	4(11.4)	0
	給食・清掃	(N = 68)	45(66.2)	10(14.7)	13(19.1)	0
	係活動	(N = 52)	37(71.2)	5(9.6)	9(17.3)	1(1.9)
	遠足	(N = 63)	32(50.8)	1(1.6)	27(42.9)	3(4.8)
	修学旅行・野外演習	(N = 10)	5(50.0)	0	3(30.0)	2(20.0)
高学年	ホームルーム	(N = 40)	32(80.0)	6(15.0)	2(5.0)	0
	朝の会	(N = 24)	14(58.3)	7(29.2)	1(4.2)	2(8.3)
	帰りの会	(N = 27)	17(63.0)	7(25.9)	1(3.7)	2(7.4)
	給食・清掃	(N = 60)	43(71.7)	12(20.0)	5(8.3)	0
	係活動	(N = 56)	44(78.6)	7(12.5)	5(8.9)	0
	遠足	(N = 62)	47(75.8)	0	15(24.2)	0
	修学旅行・野外演習	(N = 64)	48(75.0)	0	16(25.0)	0

活動で80%をこえる回答が得られている。これらの結果から、リーダーの問題はグループ活動に際して考慮されることの多い手続きの一つであると考えられよう。

3) グループリーダーの決め方

グループのリーダーに関連した質問への回答をまとめた表1-4～表1-6では、リーダー有とした回答者についてのみ結果を示している。

表1-4では、リーダー選出の手続きについてたずねた結果を学年別に示した。

これによると、全般に予め生徒が決めるという手続きが最も多くとられている。その手続きは、低学年(36～71%)に比べて中学年(50～74%)、高学年(51～80%)で多くとられていることも示された。予め教師が決めるという教師主導型のリーダー決定は低学年で多くみられ(14～44%)、中学年(6～30%)、高学年(3～16%)では少なくなっていく。生徒の中で自然に決まってしまう形のもの、低学年の「ホームルーム」、「係活動」、で20%をこえる回答が得られた。

リーダーの選定では、生徒による場合も、教師による場合も、いずれにせよ「予め」決めておくことの背景には、教師の意図的な配慮が存在すると考えられる。したがって既に低学年の頃から、リーダー選定の問題は教師の大きな関心事の一つになっていると考えられるのであ

る。

4) グループリーダー交替の形式

表1-5は、グループリーダーの交替の有無と交替する場合はその形式についてたずねた結果を学年別に示したものである。

各活動、各学年でグループ替えまでリーダー固定とする回答が多い結果であった。とくに学年がすすむにつれその割合は増加した(低学年42～57%、中学年50～74%、高学年58～80%)。しかし、「朝の会」、「帰りの会」ではグループ内で持ち回りにするといった回答が比較的多くみられ(26～44%)、また、「遠足」、「修学旅行・野外演習」では時に応じて変るといった回答が比較的多い(24～30%)。これらの諸活動は役割交替の機会として多く活用されることがうかがえたのである。

5) グループリーダーの役割

表1-6はグループのリーダーがどのような役割を担ったものであったかをたずねた結果を学年別に示したものである。ここでは選択肢の複数選択を可としている。

リーダーがグループの司会者としての役割を持っていたとする回答は、「ホームルーム」、「朝の会」、「帰りの会」の3活動では、どの学年でも半数以上、多い場合は80%に近い。グループの責任者としてリーダーを役割づけた回答は、「給食・清掃」以下の4活動で、低学年の

表1-6 グループリーダーの役割*〔Q2-(4)〕

学年	活動	役割	司会者	教師との連絡	グループのまとめ役	グループの監督者	グループの責任者	その他及び無答
低学年	ホームルーム	(N=19)	10(52.6)	0	10(52.6)	0	3(15.8)	1(5.3)
	朝の会	(N=18)	14(77.8)	3(16.7)	4(22.2)	0	2(11.1)	1(5.6)
	帰りの会	(N=23)	18(78.3)	3(13.0)	9(39.1)	0	3(13.0)	1(4.3)
	給食・清掃	(N=43)	3(7.0)	11(25.6)	21(48.8)	11(25.6)	23(53.5)	2(4.7)
	係活動	(N=33)	2(6.1)	7(21.2)	15(45.5)	5(15.2)	20(60.6)	6(18.2)
	遠足	(N=36)	1(2.8)	13(36.1)	23(63.9)	7(19.4)	12(33.3)	3(8.3)
	修学旅行・野外演習	(N=7)	0	3(42.9)	5(71.4)	4(57.1)	1(14.3)	2(28.6)
中学年	ホームルーム	(N=27)	17(63.0)	3(11.1)	13(48.1)	0	3(11.1)	0
	朝の会	(N=35)	21(60.0)	7(20.0)	16(45.7)	3(8.6)	6(17.1)	0
	帰りの会	(N=35)	20(57.1)	7(20.0)	17(48.6)	3(8.6)	5(14.3)	1(2.9)
	給食・清掃	(N=68)	3(4.4)	15(22.1)	32(47.1)	17(25.0)	45(66.2)	0
	係活動	(N=52)	3(5.8)	12(23.1)	28(53.8)	7(13.5)	33(63.5)	2(3.8)
	遠足	(N=63)	1(1.9)	20(38.5)	36(69.3)	17(32.7)	34(65.4)	2(3.8)
	修学旅行・野外演習	(N=10)	0	2(20.0)	4(40.0)	2(20.0)	5(50.0)	0
高学年	ホームルーム	(N=40)	23(57.5)	7(17.5)	17(42.5)	1(2.5)	3(7.5)	0
	朝の会	(N=24)	18(75.0)	3(12.5)	9(37.5)	0	1(4.2)	0
	帰りの会	(N=27)	20(74.1)	4(14.8)	10(37.0)	0	2(7.4)	0
	給食・清掃	(N=60)	2(3.3)	15(25.0)	33(55.0)	14(23.3)	34(56.7)	1(1.7)
	係活動	(N=56)	3(5.4)	15(26.8)	38(67.9)	10(17.9)	32(57.1)	0
	遠足	(N=62)	1(1.6)	21(33.9)	43(69.4)	7(11.3)	46(74.2)	2(3.2)
	修学旅行・野外演習	(N=64)	2(3.1)	33(51.6)	41(64.1)	6(9.4)	41(64.1)	1(1.6)

*複数選択項目

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

一部を除き、各学年で50～74%と多い。グループのまとめ役という選択肢も、各学年のほとんどの活動で多く選ばれていた(22～71%)。その他には、「遠足」、「修学旅行・野外演習」で教師との連絡役という役割が与えられ

ることが多い(20～52%)という結果も示された。リーダーが監督者という管理的機能のみを強く持った役割を負うことはどの学年、どの活動でも少ない結果であった。以上の結果から、活動別には「ホームルーム」以下の

表1-7 グループ構成人数〔Q2-(5)〕

学年	活動	人数	2人	3～4人	5～7人	8～10人	11人以上	無答
低学年	ホームルーム (N=25)		0	9(36.0)	10(40.0)	3(12.0)	1(4.0)	2(8.0)
	朝の会 (N=29)		7(24.1)	8(27.6)	5(17.2)	2(6.9)	4(13.8)	3(10.3)
	帰りの会 (N=35)		6(17.1)	11(31.4)	8(22.9)	2(5.7)	4(11.4)	4(11.4)
	給食・清掃 (N=67)		0	10(14.9)	17(25.4)	23(34.3)	12(17.9)	5(7.5)
	係活動 (N=60)		1(1.7)	35(58.3)	20(33.3)	1(1.7)	0	3(5.0)
	遠足 (N=52)		0	12(23.1)	25(48.1)	10(19.2)	3(5.8)	2(3.8)
修学旅行・野外演習 (N=9)			0	3(33.3)	6(66.7)	0	0	0
中学年	ホームルーム (N=36)		0	6(16.7)	18(50.0)	2(5.6)	3(8.3)	7(19.4)
	朝の会 (N=46)		6(13.0)	9(19.6)	20(43.5)	2(4.3)	4(8.7)	5(10.9)
	帰りの会 (N=46)		6(13.0)	8(17.4)	20(43.5)	3(6.5)	4(8.7)	5(10.9)
	給食・清掃 (N=78)		0	6(7.7)	23(29.5)	32(41.0)	14(17.9)	3(3.8)
	係活動 (N=70)		5(7.1)	30(42.9)	25(35.7)	4(5.7)	0	6(8.6)
	遠足 (N=74)		0	7(9.5)	52(70.3)	7(9.5)	2(2.7)	6(8.1)
修学旅行・野外演習 (N=11)			0	2(18.2)	5(45.5)	1(9.1)	0	3(27.3)
高学年	ホームルーム (N=46)		2(4.3)	10(21.7)	25(54.3)	3(6.5)	2(4.3)	4(8.7)
	朝の会 (N=37)		6(16.2)	7(18.9)	17(45.9)	1(2.7)	3(8.2)	3(8.2)
	帰りの会 (N=38)		7(18.4)	8(21.1)	17(44.7)	1(2.6)	2(5.3)	3(7.9)
	給食・清掃 (N=70)		1(1.4)	3(4.3)	28(40.0)	27(38.6)	10(14.3)	1(1.4)
	係活動 (N=66)		2(3.0)	37(56.1)	21(31.8)	2(3.0)	1(1.5)	3(4.5)
	遠足 (N=66)		0	5(7.6)	44(66.7)	16(24.2)	1(1.5)	0
修学旅行・野外演習 (N=65)			0	2(3.1)	39(60.0)	21(32.3)	2(3.1)	1(1.5)

表1-8 グループの性構成〔Q2-(6)〕

学年	活動	性構成	男女別々	男女混合	無答
低学年	ホームルーム (N=25)		0	24(96.0)	1(4.0)
	朝の会 (N=29)		0	28(96.6)	1(3.4)
	帰りの会 (N=35)		0	33(94.3)	2(5.7)
	給食・清掃 (N=67)		0	64(95.5)	3(4.5)
	係活動 (N=60)		0	57(95.5)	3(5.0)
	遠足 (N=52)		12(23.1)	38(73.1)	2(3.8)
修学旅行・野外演習 (N=9)			3(33.3)	6(66.7)	0
中学年	ホームルーム (N=36)		4(11.1)	28(77.8)	4(11.1)
	朝の会 (N=46)		6(13.0)	36(78.3)	4(8.7)
	帰りの会 (N=46)		7(15.2)	34(73.9)	5(10.9)
	給食・清掃 (N=78)		5(6.4)	72(92.3)	1(1.3)
	係活動 (N=70)		5(7.1)	62(88.6)	3(4.3)
	遠足 (N=74)		42(56.8)	30(40.5)	2(2.7)
修学旅行・野外演習 (N=11)			6(54.5)	3(27.3)	2(18.2)
高学年	ホームルーム (N=46)		4(8.7)	41(89.1)	1(2.2)
	朝の会 (N=37)		4(10.8)	31(83.8)	2(5.4)
	帰りの会 (N=38)		4(10.5)	32(84.2)	2(5.3)
	給食・清掃 (N=70)		10(14.3)	59(84.3)	1(1.4)
	係活動 (N=66)		5(7.6)	60(90.9)	1(1.5)
	遠足 (N=66)		35(53.0)	31(47.0)	0
修学旅行・野外演習 (N=65)			39(60.0)	26(40.0)	0

3活動と、「給食・清掃」以下の4活動との間に、どの学年においてもリーダーの役割が異なることが示された。学年間では、低学年の「遠足」で責任者としての役割を持つことが少ないといった若干の特徴はみられるが、総じて大きな差は認められなかった。回答者一人あたりの選択数も学年間で差はなく、役割の多様化という面でも特徴的な結果は示されなかった。

6) グループの構成人数

表1-7では各活動で用いたグループの大きさを、構成人数の具体的記入という形で回答を求めた結果を示す。ただし、表では人数を5段階に分類している。

低学年では、3～4人、5～7人の2段階に回答の多くが集まっている。中、高学年では5～7人への回答が全般に最も多い。即ち、低学年のグループの大きさは、中、高学年に比べて小さい傾向がある。この、人数が低学年で少ないという傾向は、低学年の児童生徒の対人的相互作用技能が未熟であることへの配慮と考えられよう。活動別には、「給食・清掃」で、どの学年でも他の活動に比べて人数が多い傾向があった。逆に「係活動」はどの学年でも人数が少ない傾向がみられた。

7) グループの性構成

表1-8はグループの性構成の基準に関する結果を学年別に示したものである。

「ホームルーム」から「係活動」までの5活動では、総

ての学年で男女混合とする基準が圧倒的に多く採用されている(73～97%)。この傾向は低学年でとくに顕著であった(94～97%)。一方、「遠足」、「修学旅行・野外演習」ではそれらとは様相が異なり、低学年でも4分の1程度が男女別の基準を採用しており、中、高両学年では性構成の両基準への回答はほぼ半々になっているのである。

8) グループの編成者

だれが主体となってグループ編成を行なったかという点に関する結果を、表1-9に学年別に示した。

ここでは、学年の推移に伴う一つの傾向を認めることができる。即ち、低学年では教師が編成の主体となる場合が多く(25～61%)、中、高学年と進むにしたがい、生徒が主体となる場合の多くなってゆく傾向がみられるのである(中学年は15～49%、高学年は34～61%)。教師、生徒の相談によるという選択肢は、各活動、各学年で22～52%と比較的多く選ばれている。しかし、編成の主体が教師から生徒へという結果とあわせて検討するならば、教師と生徒の相談とはいっても、その相対的な主導者については学年に伴う変化、即ち、低学年では教師が主導的であり、高学年に至っては児童生徒が主導的であるといった質的な変化もありうると考えられる。活動別にみた特徴としては、「係活動」、「遠足」で、早い学年から児童生徒が主体となってグループ編成をするという回答が多くみられた。

表1-9 グループの編成者〔Q2-(7)〕

学年	編成者		教師	生徒	教師・生徒の相談	その他及び無答
	活動					
低学年	ホームルーム	(N = 25)	14(56.0)	2(8.0)	8(32.0)	1(4.0)
	朝の会	(N = 29)	14(48.3)	4(13.8)	7(24.1)	4(13.8)
	帰りの会	(N = 35)	15(42.9)	5(14.3)	10(28.6)	5(14.3)
	給食・清掃	(N = 67)	41(61.2)	5(7.5)	18(26.9)	3(4.5)
	係活動	(N = 60)	15(25.0)	18(30.0)	24(40.0)	3(5.0)
	遠足	(N = 52)	16(30.8)	14(26.9)	19(36.5)	3(5.8)
	修学旅行・野外演習	(N = 9)	5(55.6)	2(22.2)	2(22.2)	0
中学年	ホームルーム	(N = 36)	11(30.6)	7(19.4)	13(36.1)	5(13.9)
	朝の会	(N = 46)	16(34.8)	8(17.4)	16(34.8)	6(13.0)
	帰りの会	(N = 46)	14(30.4)	10(21.7)	16(34.8)	6(13.0)
	給食・清掃	(N = 78)	30(38.5)	12(15.4)	34(45.6)	2(2.6)
	係活動	(N = 70)	10(14.3)	30(42.9)	28(40.0)	2(2.9)
	遠足	(N = 74)	13(17.6)	35(47.3)	25(33.8)	1(1.4)
	修学旅行・野外演習	(N = 11)	3(27.3)	3(27.3)	4(36.4)	1(9.1)
高学年	ホームルーム	(N = 46)	7(15.2)	20(43.5)	19(41.3)	0
	朝の会	(N = 37)	6(16.2)	16(43.2)	14(37.8)	1(2.7)
	帰りの会	(N = 38)	7(18.4)	18(47.4)	12(31.6)	1(2.6)
	給食・清掃	(N = 70)	17(24.3)	24(34.3)	28(40.0)	1(1.4)
	係活動	(N = 66)	2(3.0)	40(60.6)	23(34.8)	1(1.5)
	遠足	(N = 66)	3(4.5)	30(45.5)	33(50.0)	0
	修学旅行・野外演習	(N = 65)	6(9.2)	25(38.5)	34(52.3)	0

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

9) グループ編成の基準

表1-10では、グループの編成の際に用いる基準をたずねた結果を学年別に示した。選択は複数でも可としている。

対人関係重視という選択肢は、「係活動」以外の活動では、どの学年でもほぼ20%以上の選択がなされている。とくに、「遠足」、「修学旅行・野外演習」で多く(26~46

%) 選択される傾向があった。当該技能のバランスに配慮を加えるという基準は、各学年通じて「係活動」で多く(39~53%)用いられている。その他の活動ではこの基準は低学年で採用されることが多く、学年が進むにつれ採用されなくなる傾向がみられる。リーダーを先に決めるという基準は、それとは逆に学年が上がるほど多く採用されるようになる。とくに高学年の「ホームルーム」、

表1-10 グループ編成の基準* [Q2-(8)]

学年	基準		対人関係重視	当該活動の技能のバランス	リーダーを先に決める	好きな者同士	名簿順・座席位置	くじびき	その他及び無答
	活動								
低学年	ホームルーム (N=25)		7(28.0)	8(32.0)	6(24.0)	5(20.0)	4(16.0)	1(4.0)	1(4.0)
	朝の会 (N=29)		7(24.1)	8(27.6)	5(17.2)	0	10(34.5)	0	5(17.2)
	帰りの会 (N=35)		10(28.6)	8(22.9)	7(20.0)	1(2.9)	8(22.9)	0	6(17.1)
	給食・清掃 (N=67)		12(17.9)	22(32.8)	13(19.4)	4(6.0)	25(37.3)	3(4.5)	8(11.9)
	係活動 (N=60)		8(13.3)	29(48.3)	9(15.0)	13(21.7)	2(3.3)	3(5.0)	10(16.7)
	遠足 (N=52)		16(30.8)	5(9.6)	10(19.2)	21(40.4)	5(9.6)	0	2(3.8)
	修学旅行・野外演習 (N=9)		3(33.3)	4(44.4)	1(11.1)	4(44.4)	1(11.1)	0	0
中学年	ホームルーム (n=36)		11(30.6)	5(13.9)	9(25.0)	4(11.1)	5(13.9)	2(5.6)	5(13.9)
	朝の会 (n=46)		11(23.9)	8(17.4)	11(23.9)	2(4.3)	17(37.0)	0	6(13.0)
	帰りの会 (n=46)		11(23.9)	8(17.4)	10(21.7)	3(6.5)	17(37.0)	0	6(13.0)
	給食・清掃 (n=78)		18(23.1)	23(29.5)	16(20.5)	5(6.4)	37(47.4)	3(3.8)	4(5.1)
	係活動 (n=70)		13(18.6)	37(52.9)	14(20.0)	12(17.1)	3(4.3)	3(4.3)	11(15.7)
	遠足 (n=74)		19(25.7)	6(8.1)	17(23.0)	35(47.3)	6(8.1)	3(4.1)	7(9.5)
	修学旅行・野外演習 (n=11)		5(45.5)	0	4(36.4)	2(18.2)	2(18.2)	0	1(9.1)
高学年	ホームルーム (n=46)		11(23.9)	8(17.4)	19(41.3)	3(6.5)	6(13.0)	2(4.3)	2(4.3)
	朝の会 (n=37)		9(24.3)	3(8.1)	16(43.2)	0	10(27.0)	0	2(5.4)
	帰りの会 (n=38)		8(21.1)	4(10.5)	16(42.1)	0	10(26.3)	1(2.6)	2(5.3)
	給食・清掃 (n=70)		18(25.7)	10(14.3)	20(28.6)	2(2.9)	25(35.7)	6(8.6)	5(7.1)
	係活動 (n=66)		11(16.7)	26(39.4)	14(21.2)	10(15.2)	1(1.5)	3(4.5)	9(13.6)
	遠足 (n=66)		22(33.3)	8(12.1)	21(31.8)	31(47.0)	2(3.0)	7(10.6)	1(1.5)
	修学旅行・野外演習 (n=65)		26(40.0)	11(16.9)	22(33.8)	30(46.2)	2(3.1)	5(7.7)	1(1.5)

* 複数選択項目

表1-11 グループ編成替えの期間 [Q2-(9)]

学年	期間		毎日替える	1週間位	1ヶ月位	1学期位	半年位	年間不変	必要に応じて	その他及び無答
	活動									
低学年	ホームルーム (N=25)		0	0	4(16.0)	12(48.0)	2(8.0)	1(4.0)	5(20.0)	1(4.0)
	朝の会 (N=29)		6(20.7)	0	3(10.3)	12(41.4)	0	1(3.4)	3(10.3)	4(13.8)
	帰りの会 (N=35)		6(17.1)	0	5(14.3)	14(40.0)	1(2.9)	1(2.9)	3(8.6)	5(14.3)
	給食・清掃 (N=67)		1(1.5)	6(9.0)	13(19.4)	28(41.8)	4(6.0)	5(7.5)	4(6.0)	6(9.0)
	係活動 (N=60)		1(1.7)	2(3.3)	0	40(66.7)	6(10.0)	1(1.7)	4(6.7)	6(10.0)
中学年	ホームルーム (N=36)		2(5.6)	2(5.6)	3(8.3)	15(41.7)	1(2.8)	0	6(16.7)	7(19.4)
	朝の会 (N=46)		8(17.4)	0	5(10.9)	21(45.7)	2(6.5)	1(2.2)	1(2.2)	7(15.2)
	帰りの会 (N=46)		8(17.4)	0	5(10.9)	21(45.7)	2(4.3)	0	3(6.5)	7(15.2)
	給食・清掃 (N=78)		0	13(16.7)	14(17.9)	39(50.0)	2(2.6)	3(3.8)	5(6.4)	2(2.6)
	係活動 (N=70)		1(1.4)	0	3(4.3)	48(68.6)	11(15.7)	2(2.9)	1(1.4)	4(5.7)
高学年	ホームルーム (N=46)		1(2.2)	1(2.2)	6(13.0)	24(52.2)	4(8.7)	0	10(21.7)	0
	朝の会 (N=37)		9(24.3)	0	5(13.5)	14(37.8)	2(5.4)	0	6(16.2)	1(2.7)
	帰りの会 (N=38)		9(23.7)	0	6(15.8)	14(36.8)	2(5.3)	0	6(15.8)	1(2.6)
	給食・清掃 (N=70)		2(2.9)	10(14.3)	12(17.1)	28(40.0)	1(1.4)	6(8.6)	7(10.0)	4(5.7)
	係活動 (N=66)		0	0	0	44(66.7)	16(24.2)	2(3.0)	3(4.5)	1(1.5)

「朝の会」,「帰りの会」では40%を越す選択がなされている。好きな者同士という基準は、各学年ともに「遠足」,「修学旅行・野外演習」で40%以上と多く採用されている。しかしその他の活動では、低学年の「ホームルーム」,「係活動」で20%を越えた以外は余り採用されていない。名簿順, 座席位置といった基準は「給食・清掃」で各学年で36~47%と多く用いられる。次いで「朝の会」,「帰りの会」でも23~37%とこの基準が比較的多く用いられる傾向を認めることができる。くじびきを採用するという回答は非常に少なかった。

先にグループ編成の主体は、高学年では児童生徒とする回答が多い傾向がみられた。しかしこの結果では、対人関係, 当該技能, リーダーといった, 教師の教育的配慮が大きい割合で認められることから, 先の結果も, その背景には教師による何らかのコントロールが存在するものとして解釈する必要がある。

10) グループ編成替えの期間

表1-11は, どの程度の期間を置いてグループを編成替えするかという点に関する結果を学年別に示している。ここではグループ活動の実施頻度の低い「遠足」,「修学旅行・野外演習」の2活動の結果については回答を求めその背景には教師による何らかのコントロールが存在するものとして解釈する必要がある。

ここでは各学年ともに類似した結果が示された。総ての活動で, 編成替えを1学期に1度位とする回答が37~69%と, 他の選択肢に比べて多いことが全体的な主要な傾向である。活動別には, 「ホームルーム」は必要に応じて(17~22%), 「朝の会」, 「帰りの会」は毎日(17~24%)といった選択肢への回答がある程度みられ, これ

らの活動では持続的なグループは作られない場合も少なからずあるという結果が得られた。「給食・清掃」は1週間位で替えるとする回答も9~17%とある程度みられ, 編成替えの期間が他の活動に比べてやや短い傾向を持つ。一方, 「係活動」は半年位で替えるとする回答が10~24%と少なからずあり, その他の活動に比べて編成替えの頻度が低い傾向がみられた。編成替えはしないという回答は非常に少なかった。

11) グループ編成替えの契機

表1-12は, どのような契機でグループの編成替えを行なうのかをたずねた結果を学年別に示したものである。

各学年ともに, 予め決めておいた期間が経過したならば自動的に替えるとする回答が37~79%と多い。この傾向はとくに中・高学年で大きいものであった。低学年は「係活動」以外では, 中, 高学年よりも教師の判断による回答の割合が比較的大きく, そこでの教師の主導性の強さをうかがうことのできる結果が示された。

12) グループ活動の意義

表1-13では, 各教師がグループ活動にどのような意義を認めているかをたずねた結果を学年別に示した。ここでは複数の選択を可としている。

当該活動では効果的なグループ活動が可能と判断されるので, グループを導入しているという項目への選択は, 各学年ともに「ホームルーム」を除いては2~11%と必ずしも多くない結果であった。総じて生活指導領域の諸活動が, グループの効果をあげるのにふさわしいものであるとする捉え方は, それほど一般的なものではないという傾向がみられた。能率的であるが故にグループ活動を用いるとする回答は, 各学年の「給食・清掃」, 「係活

表1-12 グループ編成替えの契機〔Q2-(10)〕

学年	活動	契機	決まった期間の経過後	教師の判断	生徒の希望	活動のたび毎	その他及び無答
低学年	ホームルーム(N=25)		10(40.0)	7(28.0)	3(12.0)	4(16.0)	1(4.0)
	朝の会(N=29)		12(41.4)	10(34.5)	0	0	7(24.1)
	帰りの会(N=35)		13(37.1)	13(37.1)	1(2.9)	0	8(22.9)
	給食・清掃(N=67)		32(47.8)	16(23.9)	5(7.5)	2(3.0)	12(17.9)
	係活動(N=60)		38(63.3)	8(13.3)	4(6.7)	1(1.7)	9(15.0)
中学年	ホームルーム(N=36)		19(52.8)	7(19.4)	1(2.8)	3(8.3)	6(16.7)
	朝の会(N=46)		31(67.4)	5(10.9)	3(6.5)	0	7(15.2)
	帰りの会(N=46)		29(63.0)	6(13.0)	3(6.5)	1(2.2)	7(15.2)
	給食・清掃(N=78)		54(69.2)	14(17.9)	4(5.1)	0	6(7.7)
	係活動(N=70)		46(65.7)	8(11.4)	7(10.0)	0	9(12.9)
高学年	ホームルーム(N=46)		27(58.7)	7(15.2)	3(6.5)	4(8.7)	5(10.9)
	朝の会(N=37)		24(64.9)	5(13.5)	2(5.4)	0	6(16.2)
	帰りの会(N=38)		25(65.8)	6(15.8)	2(5.3)	0	5(13.2)
	給食・清掃(N=70)		45(64.3)	11(15.7)	4(5.7)	0	10(14.3)
	係活動(N=66)		52(78.8)	7(10.6)	1(1.5)	0	6(9.1)

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

表1-13 グループ活動の意義*〔Q3〕

学年	意義 ()内は項目番号 活動	効果的なグループ活動 可能 (1)	能率的である (7)	生徒の参加 度高まる (9)	人間関係・ 仲間意識の 育成 (3)	協調性の 育成 (10)	責任感の 育成 (12)	主体性の 育成 (13)
低 学 年	ホームルーム (N=25)	4(16.0)	1(4.0)	6(24.0)	15(60.0)	4(16.0)	0	2(8.0)
	朝の会 (N=29)	3(10.3)	1(3.4)	8(27.0)	7(24.0)	3(10.3)	2(6.9)	5(17.2)
	帰りの会 (N=35)	3(8.6)	2(5.7)	6(17.1)	11(31.4)	2(5.7)	3(8.6)	5(14.3)
	給食・清掃 係活動 (N=67)	5(7.5)	18(26.9)	10(14.9)	25(37.3)	17(25.4)	11(16.4)	6(9.0)
	遠足 (N=60)	5(8.3)	17(28.3)	11(18.3)	10(16.7)	9(15.0)	23(38.3)	13(21.7)
	修学旅行・野外演習 (N=52)	4(7.7)	3(5.8)	4(7.7)	25(48.1)	7(13.5)	4(7.7)	1(1.9)
中 学 年	ホームルーム (N=36)	7(19.4)	1(2.8)	10(27.8)	16(44.4)	4(11.1)	1(2.8)	4(11.1)
	朝の会 (N=46)	3(6.5)	5(10.9)	10(21.7)	11(23.9)	3(6.5)	4(8.7)	6(13.0)
	帰りの会 (N=46)	3(8.6)	4(11.4)	11(31.4)	11(31.4)	4(11.4)	4(11.4)	6(17.1)
	給食・清掃 係活動 (N=78)	7(9.0)	16(20.5)	7(9.0)	20(25.6)	23(29.5)	12(15.4)	1(1.3)
	遠足 (N=70)	5(8.3)	11(18.3)	8(13.3)	13(21.7)	17(28.3)	18(30.0)	10(16.7)
	修学旅行・野外演習 (N=74)	3(4.1)	9(12.2)	2(2.7)	32(43.2)	15(20.2)	5(6.8)	2(2.7)
高 学 年	ホームルーム (N=46)	10(21.7)	3(6.5)	10(21.7)	14(30.4)	4(8.7)	0	2(4.3)
	朝の会 (N=37)	4(10.8)	4(10.8)	11(29.7)	9(24.3)	3(8.1)	1(2.7)	0
	帰りの会 (N=38)	4(10.5)	4(10.5)	12(31.6)	8(21.1)	3(7.9)	1(2.6)	0
	給食・清掃 係活動 (N=70)	3(4.3)	15(21.4)	8(11.4)	13(18.6)	11(15.7)	11(15.7)	2(2.9)
	遠足 (N=66)	4(6.1)	9(13.6)	7(10.6)	14(21.2)	8(12.1)	24(36.4)	11(16.7)
	修学旅行・野外演習 (N=66)	1(1.5)	6(9.1)	3(4.5)	39(59.1)	10(15.2)	4(6.1)	5(7.6)
	修学旅行・野外演習 (N=65)	1(1.5)	8(12.3)	6(9.2)	32(49.2)	13(20.0)	7(10.8)	6(9.2)

* 複数選択項目

リーダー育 成の場とし て (8)	活動への満 足度を高め る (15)	グループへ の献身の体 験 (5)	グループ参 加の喜びの 体験 (14)	本格的グル ープ活動へ の準備 (6)	活動の性質 上不可欠 (2)	物理的な都 合上 (4)	教師の意図 徹底の手段 (11)	その他及び 無答
1(4.0)	0	0	1(4.0)	1(4.0)	1(4.0)	0	1(4.0)	0
7(24.1)	0	1(3.4)	0	4(13.8)	0	0	3(10.3)	1(3.4)
8(22.9)	0	1(2.9)	0	5(14.3)	0	0	4(11.4)	3(8.6)
5(7.5)	0	2(3.0)	18(26.9)	5(7.5)	26(38.8)	5(7.5)	1(1.5)	1(1.5)
1(1.7)	5(8.3)	2(3.3)	14(23.3)	2(3.3)	12(20.0)	3(5.0)	0	2(3.3)
2(3.8)	4(7.7)	1(1.9)	0	1(1.9)	2(3.8)	0	9(17.3)	6(11.5)
0	0	0	1(11.1)	0	0	0	2(22.2)	3(33.3)
5(13.9)	1(2.8)	2(5.6)	0	2(5.6)	2(5.6)	0	0	4(11.1)
9(19.6)	1(2.2)	1(2.2)	1(2.2)	1(2.2)	0	0	0	10(21.7)
9(25.7)	1(2.9)	1(2.9)	1(2.9)	0	1(2.9)	0	0	9(25.7)
3(3.8)	0	5(6.4)	18(23.1)	0	23(29.5)	13(16.7)	0	4(5.1)
2(3.3)	4(6.7)	5(8.3)	19(31.7)	0	17(28.3)	1(1.7)	1(1.7)	3(5.0)
8(10.8)	8(10.8)	0	1(1.4)	1(1.4)	5(6.8)	0	5(6.8)	10(13.5)
1(9.1)	0	0	0	0	1(9.1)	0	0	3(27.3)
8(17.4)	3(6.5)	1(2.2)	0	4(8.7)	1(2.2)	1(2.2)	0	4(18.7)
4(10.8)	0	0	2(5.4)	0	0	0	0	4(10.8)
4(10.5)	0	0	2(5.3)	1(2.6)	0	0	0	4(10.5)
6(8.6)	0	4(5.7)	18(25.7)	1(1.4)	21(30.0)	10(14.3)	0	3(4.3)
3(4.5)	3(4.5)	1(1.5)	12(18.2)	0	12(18.2)	2(3.0)	0	3(4.5)
6(9.1)	7(10.6)	1(1.5)	7(10.6)	0	5(7.6)	1(6.5)	8(12.1)	3(4.5)
8(12.3)	6(9.2)	1(1.5)	12(18.5)	0	7(10.8)	1(1.5)	7(10.8)	2(3.1)

動」で14～28%と比較的多くみられた他はそれほど選択されていない。その係活動も、高学年になるにしたがい選択は減少している。効率的な側面の意義は、一部を除き、グループ活用の主な理由とはなっていないという結果であった。児童生徒の参加度を高めるためとする回答は、各学年ともに「ホームルーム」、「朝の会」、「帰りの会」で17～32%と多い傾向を示した。次の、人間関係の改善に着眼したとする項目への選択は全般に多い。各学年ともに「ホームルーム」、「遠足」、「修学旅行・野外演習」で30～60%と高い値を示している。協調性、責任感、主体性といった社会的なパーソナリティーの育成に意義を認める回答も比較的多いという結果であった。それはまた、学年が低いほど、教師が選択する割合が高い傾向がある。活動別には、各学年ともに「係活動」が責任感育成の場として多く捉えられている(30～38%)点が目

立った。リーダーの育成という意義は、低、中両学年の「朝の会」、「帰りの会」で20～26%と比較的多く選択された。先にリーダーの有無についての質問をした結果では、リーダー有とする回答が多かったが、リーダー育成の場であるという点を各活動でのグループ活用の主要な意義として捉えることは少ない傾向であった。グループ活動が、当該活動に対する児童生徒の満足度を高めるとする回答は0～11%と少なかった。教育心理学的研究では多く測定されている従属変数としての満足度も、教師の間ではグループ活動の主要な意義として必ずしも認知されてはいないと思われる。つづく二つの意義、即ちグループに貢献することの意義が分る、グループの一員として働く体験的な意義があるとするものは、いわゆる集団主義の教育目標とも深い関連を持つものである。各学年、各活動で、前者の意義は0～8%と選択されることが少

表1-14 グループ活動の効率面への評価〔Q4-(1)〕

活 動	グループ活動の頻度	評 価			
		非 常 に 良	比 較 的 良	不 良	無 答
ホ ー ム ル ー ム (N=107)	終始又はしばしば	2 (1.9)	6 (5.6)	1 (0.9)	2 (1.9)
	時 々	10 (9.3)	41 (38.3)	12 (11.2)	2 (1.9)
	稀 に	3 (2.8)	17 (15.9)	9 (8.4)	2 (1.9)
	計	15 (14.0)	64 (59.8)	22 (20.6)	6 (5.6)
朝 の 会 (N=112)	終始又はしばしば	13 (11.6)	23 (20.5)	3 (2.7)	3 (2.7)
	時 々	7 (6.3)	18 (16.1)	6 (5.4)	5 (4.5)
	稀 に	2 (1.8)	15 (13.4)	13 (11.6)	4 (3.6)
	計	22 (19.6)	56 (50.0)	22 (19.6)	12 (10.7)
帰りの会 (N=119)	終始又はしばしば	14 (11.8)	28 (23.5)	3 (2.5)	2 (1.7)
	時 々	4 (3.4)	24 (20.2)	3 (2.5)	6 (5.0)
	稀 に	1 (0.8)	18 (15.1)	11 (9.2)	5 (4.2)
	計	19 (16.0)	70 (58.8)	17 (14.3)	13 (10.9)
給 食 ・ 清 掃 (N=215)	終始又はしばしば	92 (42.8)	98 (45.6)	8 (3.7)	8 (3.7)
	時 々	1 (0.5)	5 (2.3)	1 (0.5)	0
	稀 に	1 (0.5)	1 (0.5)	0	0
	計	94 (43.7)	104 (48.4)	9 (4.2)	8 (3.7)
係 活 動 (N=196)	終始又はしばしば	57 (29.1)	87 (44.4)	9 (4.6)	9 (4.6)
	時 々	5 (2.6)	19 (9.7)	1 (0.5)	2 (1.0)
	稀 に	0	6 (3.1)	1 (0.5)	0
	計	62 (31.6)	112 (57.1)	11 (5.6)	11 (5.6)
遠 足 (N=192)	終始又はしばしば	43 (22.4)	62 (32.3)	3 (1.6)	11 (5.7)
	時 々	13 (6.8)	37 (19.3)	5 (2.6)	2 (1.0)
	稀 に	2 (1.0)	10 (5.2)	1 (0.5)	3 (1.6)
	計	58 (30.2)	109 (56.8)	9 (4.7)	16 (8.3)
修学旅行・ 野外演習 (N=85)	終始又はしばしば	38 (44.7)	29 (34.1)	2 (2.4)	4 (4.7)
	時 々	4 (4.7)	3 (3.5)	1 (1.2)	1 (1.2)
	稀 に	0	2 (2.4)	0	1 (1.2)
	計	42 (49.4)	34 (40.0)	3 (3.5)	6 (7.1)

なかった。後者は前者に比べて、より広い意味内容を含んだ項目であったためか、「給食・清掃」、「係活動」では各学年通じて18～32%と比較的多い選択があった。学習指導でもグループ活動を用いるための予備的訓練の機会として生活指導場面でそれを導入するという意義は、前提としてある、グループ活動を学習指導領域にまでさらに広げようとする意図が回答者にあるか否かで、選択者がかなり限定されることを考慮しなくてはならない。結果は0～14%と、あまり多いものではなかった。中、高学年よりは低学年でやや多い傾向がみられた。次の、活動の性質上グループでないといけない、道具の数など物理的な都合上でグループを用いる、教師の意図の徹底のためグループを用いるといった、グループを手段とみなす3つの意義への選択も多いものではなかった。活動の性質上という意義が、各学年の「給食・清掃」、「係活動」

で比較的多くみられた点が目立つ程度であった。

13) グループ活動の効率面への評価

表1-14は、回答者が担任、担当する学級でのグループ活動の効率面を評価した結果を、実施頻度とクロスして示したものである。ここでは低、中、高3学年の合計による結果を示した。

これによれば、総じて、非常に効率が良かった、または比較的効率が良かったというポジティブな評価が多い。とくに「給食・清掃」以下の4活動では、非常に良とする回答の割合が大きい。効率が良くなかったとする回答は、「ホームルーム」、「朝の会」で20%、「帰りの会」で14%ほどみられた。しかし「給食・清掃」以下の4活動では、そのような回答は4～6%と非常に少ないものであった。

グループ活動の頻度との関連では、7活動のほとんど

表1-15 グループ活動の態度面への評価〔Q4-(2)〕

活 動	グループ活動の頻度	評 価			
		著しく成長	やや成長	不 変	無 答
ホ ー ム ル ー ム (N=107)	終始又はしばしば	2 (1.9)	7 (6.5)	0	2 (1.9)
	時 々	7 (6.5)	45 (42.1)	9 (8.4)	4 (3.7)
	稀 に	4 (3.7)	18 (16.8)	7 (6.5)	2 (1.9)
	計	13 (12.1)	70 (65.4)	16 (15.0)	8 (7.5)
朝 の 会 (N=112)	終始又はしばしば	17 (15.2)	20 (17.9)	4 (3.6)	1 (0.9)
	時 々	6 (5.4)	20 (17.9)	5 (4.5)	5 (4.5)
	稀 に	1 (0.9)	16 (14.3)	13 (11.6)	4 (3.6)
	計	24 (21.4)	56 (50.0)	22 (19.6)	10 (8.9)
帰りの会 (N=119)	終始又はしばしば	15 (12.6)	25 (21.0)	6 (5.0)	1 (0.8)
	時 々	11 (9.2)	18 (15.1)	2 (1.7)	6 (5.0)
	稀 に	3 (2.5)	17 (14.3)	10 (8.4)	5 (4.2)
	計	29 (24.4)	60 (50.4)	18 (15.1)	12 (10.1)
給 食 ・ 清 掃 (N=215)	終始又はしばしば	62 (28.8)	118 (54.9)	19 (8.8)	7 (3.3)
	時 々	1 (0.5)	5 (2.3)	1 (0.5)	0
	稀 に	1 (0.5)	1 (0.5)	0	0
	計	64 (29.8)	124 (57.7)	20 (9.3)	7 (3.3)
係 活 動 (N=196)	終始又はしばしば	46 (23.5)	96 (49.0)	12 (6.1)	8 (4.1)
	時 々	7 (3.6)	16 (8.2)	2 (1.0)	2 (1.0)
	稀 に	1 (0.5)	4 (2.0)	2 (1.0)	0
	計	54 (27.6)	116 (59.2)	16 (8.2)	10 (5.1)
遠 足 (N=283)	終始又はしばしば	26 (13.5)	66 (34.3)	16 (8.3)	11 (5.7)
	時 々	6 (3.1)	35 (18.2)	12 (6.3)	4 (2.1)
	稀 に	3 (1.6)	10 (5.2)	1 (0.5)	2 (1.0)
	計	35 (18.2)	111 (57.8)	29 (15.1)	17 (8.6)
修学旅行・ 野外演習 (N=252)	終始又はしばしば	31 (36.4)	32 (37.6)	5 (5.9)	5 (5.9)
	時 々	3 (3.5)	4 (4.7)	1 (1.2)	1 (1.2)
	稀 に	0	2 (2.4)	0	1 (1.2)
	計	34 (40.0)	38 (44.7)	6 (7.1)	7 (8.2)

で、実施頻度の高い回答者は、グループ活動の効率をポジティブに評価し、頻度の低い回答者にネガティブな評価が多いという相互関連性がみられた。

14) グループ活動の態度面への評価

表1-15は、回答者が実際に用いたグループ活動が、態度的諸目標達成におよぼした効果を評価した結果を、実施頻度とクロスして示したものである。低、中、高3学年の合計の値を示している。

全般的に、いずれの活動についても、やや成長をみたとする回答が最も多い傾向であった。グループ活動の導入が、特に有効とは思われない、不変であるとした回答は、「朝の会」では20%近くあったが、他の活動ではそれほど多いものではなかった。グループ活動が児童生徒の態度面に大きな効果をおよぼしたとする回答が、「修学旅行・野外演習」で40%ととくに多かった点は注目される。

頻度との関係では、「朝の会」、「帰りの会」で、先の効率についての評価の結果と同様の関連性が認められるが、その他の活動では全般に著しい相互関連性はなかった。

表1-14に示した効率的側面への評価とあわせて、グループ活動の効果は、グループ活動を導入している教師の間では、総じてポジティブに捉えられることが多いと判断される結果であった。

15) グループ活用の今後の予定

表1-16では、今後も生活指導領域の各活動でグループを導入する予定であるか否かという形で、グループ活動への教師の態度、評価をたずねた結果を、実施頻度とクロスして示した。低、中、高3学年の合計の値で示す。

総ての活動で、今後もグループ活動を用いる予定とするものの占める割合が71~96%と大きい結果がここで示された。「給食・清掃」以下の4活動では91~96%とこと

表1-16 グループ活用の今後の予定〔Q4-(3)〕

活 動	グループ 活動の頻度	予 定			
		今後も用いる	以後用いない	検 討 中	無 答
ホ ー ム ル ー ム (N=107)	終始又はしばしば	9 (8.4)	0	0	2 (1.9)
	時 々	52 (48.6)	0	12 (11.2)	1 (0.9)
	稀 に	20 (18.7)	0	9 (8.4)	2 (1.9)
	計	81 (75.7)	0	21 (19.6)	5 (4.7)
朝 の 会 (N=112)	終始又はしばしば	38 (33.9)	0	2 (1.8)	2 (1.8)
	時 々	26 (23.2)	2 (1.8)	5 (4.5)	3 (2.7)
	稀 に	18 (16.1)	2 (1.8)	11 (9.8)	3 (2.7)
	計	82 (73.2)	4 (3.6)	18 (16.1)	8 (7.1)
帰りの会 (N=119)	終始又はしばしば	41 (34.5)	0	4 (3.4)	2 (1.7)
	時 々	27 (22.7)	0	7 (5.9)	3 (2.5)
	稀 に	17 (14.3)	3 (2.5)	12 (10.1)	3 (2.5)
	計	85 (71.4)	3 (2.5)	23 (19.3)	8 (6.7)
給 食 ・ 清 掃 (N=215)	終始又はしばしば	198 (92.1)	0	4 (1.9)	4 (1.9)
	時 々	6 (2.8)	1 (0.5)	0	0
	稀 に	2 (0.9)	0	0	0
	計	206 (95.8)	1 (0.5)	4 (1.9)	4 (1.9)
係 活 動 (N=196)	終始又はしばしば	152 (77.6)	0	4 (2.0)	6 (3.1)
	時 々	23 (11.7)	0	2 (1.0)	2 (1.0)
	稀 に	7 (3.6)	0	0	0
	計	182 (92.9)	0	6 (3.1)	8 (4.1)
遠 足 (N=192)	終始又はしばしば	113 (58.9)	0	0	6 (3.1)
	時 々	49 (25.5)	0	7 (3.6)	1 (0.5)
	稀 に	12 (6.3)	0	2 (1.0)	2 (1.0)
	計	174 (90.6)	0	9 (4.7)	9 (4.7)
修学旅行・ 野外演習 (N=85)	終始又はしばしば	69 (81.2)	0	1 (1.2)	3 (3.5)
	時 々	7 (8.2)	0	2 (2.4)	0
	稀 に	2 (2.4)	0	0	1 (1.2)
	計	78 (91.8)	0	3 (3.6)	4 (4.7)

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

にその割合は大きい。多くの教師が何らかの形でグループ活動を用いようとしていることを示すこの結果は、グループ活動の意義は多様であれ、ポジティブに捉えられていることを示す一つの証左であると考えられよう。

2. 中学生の生活指導

1) グループ活動実施頻度

表2-2に生活指導領域の各活動におけるグループ活動実施頻度への回答結果を示す。

これによると、いずれかの頻度でグループ活動を行なうとした回答は、「朝の会」、「帰りの会」では半数前後あり、さらにその他の5活動では80%以上がグループを導入するとしている。したがって、生活指導領域の各活動では何らかの形でグループが用いられることは多いと判

断されよう。とくに「給食・清掃」以下の4活動では高い頻度の回答が多い結果が示された。

同じ質問に対する小学校の結果に比べて、「ホームルーム」でのグループ活用頻度が高くなっている点が中学校の結果の特徴である。

表2-3以降では、いずれの頻度であれ、グループ活動を用いるとした回答者についてのみ分析した結果を示した。

2) グループリーダーの有無

表2-3では、各活動で用いたグループに、リーダーを置いたか否かをたずねた結果を示す。

各活動ともに、リーダーを置いたとする回答の割合が85~98%と非常に高い。グループリーダーの設置は中学校では一般的であることがうかがえる。

表2-2 グループ活動実施の頻度〔Q 1〕

活動	頻度	終始あるいはしばしば	時々	稀に	小計	全く用いない	無答
ホームルーム(N=305)		53 (17.4)	148 (48.5)	49 (16.1)	250 (82.0)	35 (11.5)	20 (6.6)
朝の会(N=305)		44 (14.4)	39 (12.8)	55 (18.0)	138 (45.2)	146 (47.9)	21 (6.9)
帰りの会(N=305)		65 (21.3)	64 (21.0)	47 (15.4)	176 (57.7)	110 (36.1)	19 (6.2)
給食・清掃(N=305)		272 (89.2)	18 (5.9)	3 (1.0)	293 (96.1)	3 (1.0)	9 (3.0)
係活動(N=305)		192 (63.0)	48 (15.7)	9 (3.0)	249 (81.6)	36 (11.8)	20 (6.6)
遠足(N=305)		232 (76.1)	42 (13.8)	9 (3.0)	283 (92.8)	6 (2.0)	16 (5.2)
修学旅行・野外演習(N=305)		217 (71.1)	30 (9.8)	5 (1.6)	252 (82.6)	3 (1.0)	50 (16.4)

表2-3 グループリーダーの有無

活動	有・無	リーダー有	リーダー無	無答
ホームルーム(N=250)		228 (91.2)	18 (7.2)	4 (1.6)
朝の会(N=138)		119 (86.2)	19 (13.8)	0
帰りの会(N=176)		150 (85.2)	26 (14.8)	0
給食・清掃(N=293)		251 (85.7)	40 (13.7)	2 (0.7)
係活動(N=249)		230 (92.4)	18 (7.2)	1 (0.4)
遠足(N=283)		272 (96.1)	8 (2.8)	3 (1.1)
修学旅行・野外演習(N=252)		246 (97.6)	4 (1.6)	2 (0.8)

表2-4 グループリーダーの決め方〔Q 2-(2)〕

活動	決め方	予め生徒が決める	予め教師が決める	自然に生徒の間で決まる	一定時間後教師が決める	その他及び無答
ホームルーム(N=228)		161 (70.6)	36 (15.8)	22 (9.6)	3 (1.3)	6 (2.6)
朝の会(N=119)		82 (68.9)	21 (17.6)	9 (7.6)	1 (0.8)	6 (5.0)
帰りの会(N=150)		104 (69.3)	27 (18.0)	10 (6.7)	1 (0.7)	8 (5.3)
給食・清掃(N=251)		182 (72.5)	30 (12.0)	29 (11.6)	0	10 (4.0)
係活動(N=230)		183 (79.6)	16 (7.0)	22 (9.6)	0	9 (3.9)
遠足(N=272)		202 (74.3)	26 (9.6)	39 (14.3)	0	5 (1.8)
修学旅行・野外演習(N=246)		180 (73.2)	30 (12.2)	29 (11.8)	0	7 (2.8)

同じ質問に対する小学校での結果に比べては、「朝の会」、「帰りの会」でのリーダー設置の割合が、増大している点を特徴として指摘できよう。

3) グループリーダーの決め方

グループリーダーに関連した質問への回答をまとめた表2-4～2-6では、リーダー有とした回答者についてのみ結果を示している。

表2-4は、グループリーダーの決め方をたずねた結果を示す。

ここでは各活動ともに類似の傾向が認められる。即ち、予め生徒が決めるという手続きによるものが各活動で69～80%と大きい割合を占めているのである。自然に生徒の中からリーダーが決まるという、放任的なリーダーの決め方は10%前後の回答がなされた程度であった。

同じ質問に対する小学校の結果に比べ、ここでは生徒が主体になって決めるとする回答の割合が大きい。

4) グループリーダー交替の形式

表2-5ではグループリーダーの交替の有無、交替の形式に関する回答をまとめている。

全般に、一旦リーダーが決まればグループ替えまで固定するという回答が56～82%と多い。ただし、「朝の会」、「帰りの会」ではグループ内持ち回りとする回答が23～26%あり、また「遠足」、「修学旅行・野外演習」では20～

24%の回答が時に応じてリーダーが変わるとしており、これらの諸活動で役割交替への配慮がしばしばとられることが示された。

中学校のこの結果は同じ質問に対する小学校高学年の結果と似た傾向を示している。

5) グループリーダーの役割

表2-6では、グループのリーダーに課された役割に関する結果を示した。ここでは複数選択を可としている。「ホームルーム」、「朝の会」、「帰りの会」という3活動でのリーダーは、司会者としての役割を持つとする回答が69～72%と最も多い。これらの活動では次いでグループのまとめ役としての役割を持つことが多い(30～43%)という結果も示された。「給食・清掃」以下の4活動では、グループのまとめ役、グループの責任者の両役割が多く選択された(まとめ役は48～79%、責任者は65～70%)。教師との連絡役という役割は総ての活動で20～36%と比較的多い選択がなされた。

ここでの結果も、同じ質問に対する小学校の結果と大きく異なるものではなかった。回答者の1人あたりの選択数も、小学校の場合に比べて差は認められない。

6) グループの構成人数

表2-7は、各活動のグループ構成人数を5つのカテゴリーに分けて集計したものである。

表2-5 リーダー交替の形式〔Q2-(3)〕

活動	形式	グループ替えまで固定	グループ内で持ち回り	時々に応じて変わる	その他及び無答
ホームルーム(N=228)		182 (79.8)	11 (4.8)	34 (14.9)	1 (0.4)
朝の会(N=119)		67 (56.3)	31 (26.1)	19 (16.0)	2 (1.7)
帰りの会(N=150)		91 (60.7)	34 (22.7)	24 (16.0)	1 (0.7)
給食・清掃(N=251)		199 (79.3)	30 (12.0)	18 (7.2)	4 (1.6)
係活動(N=230)		188 (81.7)	14 (6.1)	26 (11.3)	2 (0.9)
遠足(N=272)		198 (72.8)	3 (1.1)	65 (23.9)	6 (2.2)
修学旅行・野外演習(N=246)		190 (77.2)	2 (0.8)	49 (19.9)	5 (2.0)

表2-6 グループリーダーの役割*〔Q2-(4)〕

活動	役割	司会者	教師との連絡	グループのまとめ役	グループの監督者	グループの責任者	その他及び無答
ホームルーム(N=228)		163 (71.5)	53 (23.2)	99 (43.4)	7 (3.1)	39 (17.1)	8 (3.5)
朝の会(N=119)		82 (68.9)	30 (25.2)	35 (29.4)	1 (0.8)	16 (13.4)	6 (5.0)
帰りの会(N=150)		103 (68.7)	34 (22.7)	59 (39.3)	3 (2.0)	25 (16.7)	5 (3.3)
給食・清掃(N=251)		10 (4.0)	50 (19.9)	198 (78.9)	52 (20.7)	174 (69.3)	6 (2.4)
係活動(N=230)		13 (5.7)	56 (24.3)	110 (47.8)	28 (12.2)	158 (68.7)	5 (2.2)
遠足(N=272)		11 (4.0)	82 (30.1)	151 (55.5)	43 (15.8)	177 (65.1)	6 (2.2)
修学旅行・野外演習(N=246)		9 (3.7)	89 (36.2)	132 (53.7)	37 (15.0)	171 (69.5)	7 (2.8)

*複数選択項目

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

これによると、中学校でも最も普通のグループ構成人数は5～7人の範囲にあることが分る（各活動で55～%）。「給食・清掃」、「遠足」、「修学旅行・野外演習」では8～10人グループも20～29%と比較的多く用いられる。「係活動」では逆に3～4人グループへの回答も25%程度あり、ここではグループサイズが他の活動に比べてやや小さい傾向のあることが示された。

中学校では特に小学校高学年の同じ質問への回答と比べて、5～7人のカテゴリへの集中度がやや高いが、全般的には類似した結果を示している。

7) グループの性構成

表2-8は、グループの性構成の基準に関する結果を示したものである。

「遠足」、「修学旅行・野外演習」では選択肢で掲げた2基準、即ち男女別々、男女混合のそれぞれに約半数ずつの回答があったが、それ以外の5活動では、男女混合集団を用いたとする回答が76～90%と、非常に高い割合を示した。

この結果は同じ質問に対する小学校中、高学年の結果と類似したものであった。

8) グループの編成者

表2-9は、だれが主体となってグループの編成を行ったかをたずねた結果を示したものである。

全般に、生徒が決めたとする回答（36～51%）と、教師、生徒の相談による回答（32～46%）の双方いずれかへの選択がなされている。「係活動」以下の3活動

表2-7 グループの構成人数〔Q2-(5)〕

活動	人数	2人	3～4人	5～7人	8～10人	11人以上	無答
ホームルーム(N=250)		7 (2.8)	27 (10.8)	152 (60.8)	34 (13.6)	8 (3.2)	22 (8.8)
朝の会(N=138)		11 (8.0)	14 (10.1)	80 (58.0)	15 (10.9)	4 (2.9)	14 (10.1)
帰りの会(N=176)		14 (8.0)	16 (9.1)	107 (60.8)	17 (9.7)	4 (2.3)	18 (10.2)
給食・清掃(N=293)		3 (1.0)	9 (3.1)	172 (58.7)	85 (29.0)	13 (4.4)	11 (3.8)
係活動(N=249)		12 (4.8)	61 (24.5)	137 (55.0)	28 (11.2)	4 (1.6)	7 (2.8)
遠足(N=283)		1 (0.4)	18 (6.4)	192 (67.8)	57 (20.1)	5 (1.8)	10 (3.5)
修学旅行・野外演習(N=252)		1 (0.4)	10 (4.0)	162 (64.3)	65 (25.8)	5 (2.0)	9 (3.6)

表2-8 グループの性構成〔Q2-(6)〕

活動	性構成	男女別々	男女混合	無答
ホームルーム(N=250)		34 (13.6)	203 (81.2)	13 (5.2)
朝の会(N=138)		22 (15.9)	105 (76.1)	11 (8.0)
帰りの会(N=176)		27 (15.3)	134 (76.1)	15 (8.5)
給食・清掃(N=293)		36 (12.3)	251 (85.7)	6 (2.0)
係活動(N=249)		23 (9.2)	223 (89.6)	3 (1.2)
遠足(N=283)		138 (48.8)	139 (49.1)	6 (2.1)
修学旅行・野外演習(N=252)		135 (53.6)	111 (44.0)	6 (2.4)

表2-9 グループの編成者〔Q2-(7)〕

活動	編成者	教師	生徒	教師生徒の相談	その他及び無答
ホームルーム(N=250)		39 (15.6)	91 (36.4)	99 (39.6)	21 (8.4)
朝の会(N=138)		20 (14.5)	52 (37.7)	51 (37.0)	15 (10.9)
帰りの会(N=176)		29 (16.5)	70 (39.8)	57 (32.4)	20 (11.4)
給食・清掃(N=293)		50 (17.1)	117 (39.9)	112 (38.2)	14 (4.8)
係活動(N=249)		13 (5.2)	119 (47.8)	108 (43.4)	9 (3.6)
遠足(N=283)		13 (4.6)	144 (50.9)	119 (42.0)	7 (2.5)
修学旅行・野外演習(N=252)		16 (6.3)	111 (44.0)	116 (46.0)	9 (3.6)

では教師の判断だけでグループが編成されることは5～6%と非常に少ないことがうかがえた。

以上の結果は、同じ質問に対する小学校高学年の結果と類似したものであった。

9) グループ編成の基準

表2-10はグループ編成の基準をたずねた結果である。選択は複数でも可としている。

対人関係重視という選択肢は「給食・清掃」、「係活動」で19%、その他の5活動では27～35%の選択があり、比較的多く用いられる基準であることが示された。当該活動の技能のバランスの考慮という基準は、「係活動」で36%と多く採用されている。予めリーダーを決めるという手続きについては、総ての活動で30%をこえる選択があり、対人関係重視という基準以上に多く用いられるものであることが示された。好きな者同士という基準は、「遠足」、「修学旅行・野外演習」で34～36%と多く選択される。名簿順、座席順といった基準は「給食・清掃」で27%と比較的多い選択をみた。くじびきという基準は、各活動で10%前後の選択がなされた。

以上の結果は、同じ質問に対する小学校の結果と、なかでも高学年での結果との間では著しい差はほとんどみられない。ただ、くじびきのような教師の操作の介入しない基準が若干多く採用される傾向のみられた点の一つの特徴といえよう。

10) グループ編成替えの期間

表2-11は、どれ程の期間を置いてグループの編成替えを行なうかについての結果である。グループ活動の実施頻度が低い「遠足」、「修学旅行・野外演習」の2活動については回答を求めなかった。次の表2-11も同様の理由でこの2活動の結果は示されない。

グループの編成替えは1カ月から半年にわたる3選択肢への回答が非常に多い。中でも1学期程度とする回答は、総ての活動で32～39%と多い傾向がみられた。「係活動」は半年位で編成替えをするという回答も39%と多く、他の活動に比べて同一グループでの活動期間が長い傾向が認められる。年間不変とする回答は、いずれの活動でも1～7%と多いものではなかった。

同じ質問に対する小学校の結果と比べると、半年程度で替えるとする回答が若干多く、中学校でのグループの方が編成替えまでの期間が多少長い傾向がある。

11) グループ編成替えの契機

表2-12は、どのような契機でグループの編成替えを行なったかをたずねた結果を示した。

予め定めた期間が経過すれば自動的に替えるとする回答が、各活動ともに46～67%とほぼ半数を占める。教師の判断、生徒の希望という2つの選択肢へは、概ね15%前後の回答がなされた。

同じ質問についての小学校の結果と比べて、中学校では生徒の希望によるとするものの割合が大きくなっている点が特徴であった。

表2-10 グループ編成の基準*〔Q2-(8)〕

活動	基準	対人関係重視	当該活動の技能のバランス	リーダーを先に決める	好きな者同士	名簿順・座席位置	くじびき	その他及び無答
ホームルーム(N=250)		76 (30.4)	32 (12.8)	97 (38.8)	21 (8.4)	30 (12.0)	28 (11.2)	24 (9.6)
朝の会(N=138)		39 (28.3)	19 (13.8)	50 (36.2)	5 (3.6)	22 (15.9)	18 (13.0)	18 (13.0)
帰りの会(N=176)		48 (27.3)	22 (12.5)	62 (35.2)	11 (6.3)	28 (15.9)	24 (13.6)	22 (12.5)
給食・清掃(N=293)		56 (19.1)	49 (16.7)	94 (32.1)	31 (10.6)	78 (26.6)	40 (13.7)	12 (4.1)
係活動(N=249)		48 (19.3)	89 (35.7)	97 (39.0)	30 (12.0)	8 (3.2)	28 (11.2)	13 (5.2)
遠足(N=283)		86 (30.4)	29 (10.2)	104 (36.7)	101 (35.7)	11 (3.9)	26 (9.2)	6 (2.1)
修学旅行・野外演習(N=252)		87 (34.5)	29 (11.5)	91 (36.1)	85 (33.7)	8 (3.2)	24 (9.5)	10 (4.0)

*複数選択項目

表2-11 グループ編成替えの期間〔Q2-(9)〕

活動	期間	毎日替える	1週間位	1カ月位	1学期位	半年位	年間不変	必要に応じて	その他及び無答
ホームルーム(N=250)		2 (0.8)	1 (0.4)	46 (18.4)	95 (38.0)	38 (15.2)	8 (3.2)	34 (13.6)	26 (10.4)
朝の会(N=138)		13 (9.4)	1 (0.7)	27 (19.6)	45 (32.6)	18 (13.0)	2 (1.4)	16 (11.6)	16 (11.6)
帰りの会(N=176)		15 (8.5)	2 (1.1)	37 (21.0)	56 (31.8)	23 (13.1)	4 (2.3)	18 (10.2)	21 (11.9)
給食・清掃(N=293)		3 (1.0)	17 (5.8)	56 (19.1)	114 (38.9)	45 (15.4)	20 (6.8)	18 (6.1)	20 (6.8)
係活動(N=249)		2 (0.8)	3 (1.2)	18 (7.2)	87 (34.9)	96 (38.6)	12 (4.8)	18 (7.2)	13 (5.2)

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

表2-12 グループ編成替えの契機〔Q2-10〕

契機	決まった期間の経過後	教師の判断	生徒の希望	活動のたび毎	その他及び無答
ホームルーム(N=250)	116 (46.4)	56 (22.4)	34 (13.6)	9 (3.6)	35 (14.0)
朝の会(N=138)	67 (48.6)	21 (15.2)	21 (15.2)	2 (1.4)	27 (19.6)
帰りの会(N=176)	87 (49.4)	31 (17.6)	25 (14.2)	3 (1.7)	30 (17.0)
給食・清掃(N=293)	141 (48.1)	49 (16.7)	51 (17.4)	2 (0.7)	50 (17.1)
係活動(N=249)	167 (67.1)	35 (14.1)	18 (7.2)	2 (0.8)	27 (10.8)

表2-13 グループ活動の意義*〔Q3〕

活動	ホームルーム(N=252)	朝の会(N=138)	帰りの会(N=176)	給食・清掃(N=293)	係活動(N=249)	遠足(N=283)	修学旅行・野外演習(N=252)
効果的なグループ活動可能	43 (17.2)	17 (12.3)	23 (13.1)	23 (7.8)	20 (8.0)	18 (6.4)	15 (6.0)
能率的である	23 (9.2)	23 (16.7)	29 (16.5)	70 (23.9)	52 (20.9)	48 (17.0)	46 (18.3)
生徒の参加度高まる	51 (20.4)	30 (21.7)	38 (21.6)	22 (7.5)	40 (16.1)	30 (10.6)	26 (10.3)
人間関係・仲間意識の育成	88 (35.2)	33 (23.9)	41 (23.3)	73 (24.9)	41 (16.5)	119 (42.0)	101 (40.1)
協調性の育成	38 (15.2)	15 (10.9)	19 (10.8)	76 (25.9)	14 (5.6)	68 (24.0)	60 (23.8)
責任感の育成	3 (1.2)	18 (13.0)	22 (12.5)	50 (17.1)	52 (20.9)	22 (7.8)	28 (11.1)
主体性の育成	22 (8.8)	11 (8.0)	14 (8.0)	8 (2.7)	20 (8.0)	29 (10.2)	31 (12.3)
リーダー育成の場として	51 (20.4)	20 (14.5)	24 (13.6)	16 (5.5)	35 (14.1)	41 (14.5)	39 (15.5)
活動への満足度を高める	3 (1.2)	2 (1.4)	3 (1.7)	3 (1.0)	7 (2.8)	18 (6.4)	14 (5.6)
グループへの献身の体験	4 (1.6)	4 (2.9)	6 (3.4)	16 (5.5)	13 (5.2)	12 (4.2)	14 (5.6)
グループ参加の喜びの体験	8 (3.2)	7 (5.1)	6 (3.4)	47 (16.0)	54 (21.7)	16 (5.7)	35 (13.9)
本格的グループ活動への準備	12 (4.8)	7 (5.1)	11 (6.3)	1 (0.3)	7 (2.8)	6 (2.1)	5 (2.0)
活動の性質上不可欠	22 (8.8)	5 (3.6)	7 (4.0)	122 (41.6)	67 (26.9)	31 (11.0)	39 (15.5)
物理的な都合上	3 (1.2)	1 (0.7)	0	42 (14.3)	4 (1.6)	2 (0.7)	5 (2.0)
教師の意図徹底の手段	8 (3.2)	5 (3.6)	7 (4.0)	3 (1.0)	41 (16.5)	24 (8.5)	21 (8.3)
その他及び無答	22 (8.8)	14 (10.1)	15 (8.5)	9 (3.0)	9 (3.6)	17 (6.0)	15 (6.0)

*複数選択項目

12) グループ活動の意義

表2-13では、教師がグループ活動にどのような意義を認めているかをたずねた結果が示されている。ここでは複数の選択を可としている。

生活指導領域での当該活動では、効果的なグループ活動が可能と判断されるが故にグループを導入するという選択肢への回答は、「ホームルーム」で17%の選択をみた程度で、後の活動では余り多くは選ばれていない。グループ活動の能率面を評価した回答は、「ホームルーム」を除いた残りの諸活動では17~24%の選択が得られている。生徒の参加度を高めるためとする意義は、「ホームルーム」、「朝の会」、「帰りの会」で20~22%と比較的よく選択された。次の、人間関係の改善に着眼したとする項目への選択は、17~42%と各活動で多い。とくに「ホームルーム」、「遠足」、「修学旅行・野外演習」で35~42%と高い値が示されている。協調性、責任感、主体性といった社会的パーソナリティーの育成面で意義を認める回答も比較的多い。「給食・清掃」、「遠足」、「修学旅行・野外演習」は協調性育成の場として24~26%が選択し、「係活動」は責任感育成の場として21%が選択している所が

特徴的であった。リーダーの育成面での意義は、「ホームルーム」で20%の選択がなされ、その他の活動でも「給食・清掃」を除いては14~16%の選択がなされている。活動への満足度を高めるといった意義への選択は1~6%と少ない結果であった。つづく2つの意義、即ち、グループに献身することの意義が分る、グループの一員として働く体験となるといったものは、いわゆる集団主義教育の目標とも深い関連性を持つものである。後者の意義は「給食・清掃」、「係活動」で16~22%が選択している。学習指導領域でのグループ活動の準備、訓練の場として、当該活動にグループを導入したとする回答は0~6%と多いものではなかった。活動の性質上グループでないといけない、道具の数などの物理的都合でグループを用いる、教師の意図を徹底するためといった、グループを手段としてのみとらえた意義への回答は、一部を除いて多いものではなかった。活動の性質上とする回答が、「給食・清掃」(42%)、「係活動」(27%)で多くみられた点が目立つ程度であった。

同じ質問に対する小学校での結果と比べることによって、中学校でのグループ活動の意義はある程度特徴づけ

ることができる。即ち、中学校では効率面への評価が小学校に比べて多少高く、社会的パーソナリティーの育成面への着眼も多く、さらにリーダー育成の場として捉えることも多い傾向が認められたのである。また、回答者1人あたりの選択数も、小学校が各活動で1.1～1.8であるのに対し、中学校では1.5～2.0とやや多い傾向も認められた。

13) グループ活動の効率面への評価

表2-14は回答者自身の担任、担当する学級でのグループ活動の効率面への評価を、実施頻度とクロスして示したものである。

各活動ともに比較的効率が良かったとする回答の占める割合が41～58%と最も多い。非常に良かったとする回答と合わせるならば、いずれの活動でもポジティブな評価への回答が多いものであったといえる。ただし、活動

によって多少の差は認められる。即ち、効率不良とする回答の割合が「ホームルーム」では最も多く、23%を示し、次いで「朝の会」、「帰りの会」で17%とその割合が大きい。それに対して「遠足」、「修学旅行・野外演習」でネガティブな評価をした回答は4～5%と非常に少ないものであった。

グループ活動の実施頻度と評価の関連性では、「ホームルーム」、「朝の会」、「帰りの会」で、頻度の高い者にポジティブな評価が多く、頻度の低い者ほどネガティブな回答をする場合が多いという結果がみられた。

同じ質問に対する小学校の結果との間では著しい差は認められなかった。

14) グループ活動の態度面への評価

表2-15は、回答者が実際に用いたグループが、生徒の態度的諸目標の達成におよぼした効果を評価した結果

表2-14 グループ活動の効率面への評価〔Q4-1〕

活 動	グループ 活動の頻度	評 価			
		非 常 に 良	比 較 的 良	不 良	無 答
ホ ー ム ル ー ム (N=250)	終始又はしばしば	11 (4.4)	30 (12.0)	8 (3.2)	4 (1.6)
	時 々	15 (6.0)	91 (36.4)	33 (13.2)	9 (3.6)
	稀 に	2 (0.8)	23 (9.2)	17 (6.8)	7 (2.8)
	計	28 (11.2)	144 (57.6)	58 (23.2)	20 (8.0)
朝 の 会 (N=138)	終始又はしばしば	13 (9.4)	22 (15.9)	5 (3.6)	4 (2.9)
	時 々	7 (5.1)	22 (15.9)	5 (3.6)	5 (3.6)
	稀 に	6 (4.3)	31 (22.5)	13 (9.4)	5 (3.6)
	計	26 (18.8)	75 (54.3)	23 (16.7)	14 (10.1)
帰 り の 会 (N=176)	終始又はしばしば	20 (11.4)	32 (18.2)	6 (3.4)	7 (4.0)
	時 々	12 (6.8)	37 (21.0)	11 (6.3)	4 (2.3)
	稀 に	3 (1.7)	25 (14.2)	13 (7.4)	6 (3.4)
	計	35 (19.9)	94 (53.4)	30 (17.0)	17 (9.7)
給 食 ・ 清 掃 (N=293)	終始又はしばしば	102 (34.8)	130 (44.4)	28 (9.6)	12 (4.1)
	時 々	3 (1.0)	12 (4.1)	2 (0.7)	1 (0.3)
	稀 に	1 (0.3)	2 (0.7)	0	0
	計	106 (36.2)	144 (49.1)	30 (10.2)	13 (4.4)
係 活 動 (N=249)	終始又はしばしば	63 (25.3)	96 (38.6)	23 (9.2)	10 (4.0)
	時 々	10 (4.0)	30 (12.0)	6 (2.4)	2 (0.8)
	稀 に	1 (0.4)	7 (2.8)	1 (0.4)	0
	計	74 (29.7)	133 (53.4)	30 (12.0)	12 (4.8)
遠 足 (N=283)	終始又はしばしば	107 (37.8)	103 (36.4)	8 (2.8)	14 (4.9)
	時 々	9 (3.2)	25 (8.8)	6 (2.1)	2 (0.7)
	稀 に	2 (0.7)	5 (1.8)	1 (0.4)	1 (0.4)
	計	118 (41.7)	133 (47.0)	15 (5.3)	17 (6.0)
修学旅行・ 野外演習 (N=252)	終始又はしばしば	118 (46.8)	87 (34.5)	5 (2.0)	7 (2.8)
	時 々	10 (4.0)	15 (6.0)	3 (1.2)	2 (0.8)
	稀 に	1 (0.4)	2 (0.8)	1 (0.4)	1 (0.4)
	計	129 (51.2)	104 (41.3)	9 (3.6)	10 (4.0)

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

表2-15 グループ活動の態度面への評価〔Q4-(2)〕

活 動	グループ活動の頻度	評 価			
		著しく成長	やや成長	不 変	無 答
ホーム ルーム (N=250)	終始又はしばしば	8 (3.2)	39 (15.6)	3 (1.2)	3 (1.2)
	時 々	16 (6.4)	93 (37.2)	30 (12.0)	9 (3.6)
	稀 に	3 (1.2)	23 (9.2)	15 (6.0)	8 (3.2)
	計	27 (10.8)	155 (62.0)	48 (19.2)	20 (8.0)
朝 の 会 (N=138)	終始又はしばしば	8 (5.8)	26 (18.8)	6 (4.3)	4 (2.9)
	時 々	7 (5.1)	23 (16.7)	4 (2.9)	5 (3.6)
	稀 に	2 (1.4)	36 (26.1)	12 (8.7)	5 (3.6)
	計	17 (12.3)	85 (61.6)	22 (15.9)	14 (10.1)
帰りの会 (N=176)	終始又はしばしば	14 (8.0)	37 (21.0)	9 (5.1)	5 (2.8)
	時 々	7 (4.0)	40 (22.7)	12 (6.8)	5 (2.8)
	稀 に	1 (0.6)	32 (18.2)	8 (4.5)	6 (3.4)
	計	22 (12.5)	109 (61.9)	29 (16.5)	16 (9.1)
給 食 ・ 清 掃 (N=293)	終始又はしばしば	40 (13.7)	168 (57.3)	54 (18.4)	10 (3.4)
	時 々	0	15 (5.1)	2 (0.7)	1 (0.3)
	稀 に	0	3 (1.0)	0	0
	計	40 (13.7)	186 (63.5)	56 (19.1)	11 (3.8)
係 活 動 (N=249)	終始又はしばしば	49 (19.7)	109 (43.8)	25 (10.0)	9 (3.6)
	時 々	5 (2.0)	35 (14.1)	6 (2.4)	2 (0.8)
	稀 に	1 (0.4)	5 (2.0)	3 (1.2)	0
	計	55 (22.1)	149 (59.8)	34 (13.7)	11 (4.4)
遠 足 (N=283)	終始又はしばしば	53 (18.7)	144 (50.9)	24 (8.5)	11 (3.9)
	時 々	8 (2.8)	23 (8.1)	9 (3.2)	2 (0.8)
	稀 に	0	5 (1.8)	3 (1.1)	1 (0.4)
	計	61 (21.6)	172 (60.8)	36 (12.7)	14 (4.9)
修学旅行・ 野外演習 (N=252)	終始又はしばしば	75 (29.8)	110 (43.7)	24 (9.5)	8 (3.2)
	時 々	7 (2.8)	18 (7.1)	3 (1.2)	2 (0.8)
	稀 に	1 (0.4)	2 (0.8)	1 (0.4)	1 (0.4)
	計	83 (32.9)	130 (51.6)	28 (11.1)	11 (4.4)

を、実施頻度とクロスして示したものである。

全般に、各活動ともにやや成長をみた評価する回答が52～64%と最も多い。著しく成長したとする回答は、「係活動」以下の3活動で20%をこえている。一方グループ活動の導入が特に効果をおよぼしたとは考えられないとする回答は、各活動で11～19%程度みられた。総じてポジティブな評価が多いと考えられる。表2-14での効率面への評価とでは、選択肢の内容が異なるため、単純な比較はできないが、表2-14の非常に良、表2-15の著しく成長という2つの選択肢への回答を比較すると、一貫して態度面への効果の方が多少低く評価される傾向がみられる。

頻度との関係では、「ホームルーム」、「朝の会」、「帰りの会」で、実施頻度と評価との間に、先の効率面への評価の結果と同様の関連性が認められた。

同じ質問に対する小学校での結果と比べると、「朝の会」、「帰りの会」、「給食・清掃」で多少評価の低い傾向が認められたが、その他全般的には大きな差はなかった。

15) グループ活用の今後の予定

表2-16では、生活指導領域の各活動でグループを導入する予定であるか否かをたずねた結果を、これまでのグループ実施頻度との関連でまとめている。

ここでは総ての活動で、グループを今後も用いる予定とする回答の割合が73～97%と非常に大きい。とくに「給食・清掃」以下の4活動では93～97%とその傾向は著しいものであった。このような結果は、何らかの意味でグループ活動を教師が多くポジティブに評価している一つの指標を提供していると考えられよう。

これは同じ質問に対する小学校の結果とほぼ同様の傾向である。

資 料

表 2-16 グループ活用の今後の予定 [Q 4-(3)]

活 動	グループ 活動の頻度	予 定		検 討 中	無 答
		今後も用いる	以後用いない		
ホ ー ム ル ー ム (N=250)	終始又はしばしば	48 (19.2)	0	3 (1.2)	2 (0.8)
	時 々	117 (46.8)	3 (1.2)	22 (8.8)	6 (2.4)
	稀 に	33 (13.2)	1 (0.4)	12 (4.8)	3 (1.2)
	計	198 (79.2)	4 (1.6)	37 (14.8)	11 (4.4)
朝 の 会 (N=138)	終始又はしばしば	38 (27.5)	1 (0.7)	1 (0.7)	4 (2.9)
	時 々	28 (20.3)	1 (0.7)	5 (3.6)	5 (3.6)
	稀 に	34 (24.6)	3 (2.2)	15 (10.9)	3 (2.2)
	計	100 (72.5)	5 (3.6)	21 (15.2)	12 (8.7)
帰りの会 (N=176)	終始又はしばしば	58 (33.0)	1 (0.6)	0	6 (3.4)
	時 々	48 (27.3)	3 (1.7)	9 (5.1)	4 (2.3)
	稀 に	25 (14.2)	2 (1.1)	16 (9.1)	4 (2.3)
	計	131 (74.4)	6 (3.4)	25 (14.2)	14 (8.0)
給 食 ・ 清 掃 (N=293)	終始又はしばしば	264 (90.1)	0	0	8 (2.7)
	時 々	18 (6.1)	0	0	0
	稀 に	3 (1.0)	0	0	0
	計	285 (97.3)	0	0	8 (2.7)
係 活 動 (N=249)	終始又はしばしば	183 (73.5)	0	3 (1.2)	6 (2.4)
	時 々	46 (18.5)	0	0	2 (0.8)
	稀 に	9 (3.6)	0	0	0
	計	238 (95.6)	0	3 (1.2)	8 (3.2)
遠 足 (N=283)	終始又はしばしば	220 (77.7)	0	3 (1.1)	9 (3.2)
	時 々	38 (13.4)	2 (0.7)	1 (0.4)	1 (0.4)
	稀 に	6 (2.1)	0	2 (0.7)	1 (0.4)
	計	264 (93.3)	2 (0.7)	6 (2.1)	11 (3.9)
修学旅行・ 野外演習 (N=252)	終始又はしばしば	210 (83.3)	0	1 (0.4)	6 (2.4)
	時 々	27 (10.7)	0	2 (0.8)	1 (0.4)
	稀 に	4 (1.6)	0	0	1 (0.4)
	計	241 (95.6)	0	3 (1.2)	8 (3.2)

(1980年 7月31日 受稿)

小・中学校における指導の調査的研究Ⅱ

資料

第2部 生活指導形態に関する調査

以下では「生活指導」の領域に分類される諸活動についておたずねします。

- 1) 担任学級をお持ちの場合には、その学級におけるこの一年間の活動についてお答え下さい。
 - 2) 担任学級をお持ちでない場合は、最も接触の多かった学級についてお答え下さい。
- ① ホームルーム、② 朝の会、③ 帰りの会、④ 給食・清掃、⑤ 学級の係活動、⑥ 遠足、⑦ 修学旅行及び宿泊を伴う野外活動という7種類の活動を中心にとりあげて質問いたします。

なお、担当された学級で、この一年間実施しなかった活動がある場合は、その活動についての回答欄は空けておいて下さい。また、選択肢のうち「その他」という項目を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を書いて下さい。

<1>上記7種類の活動を指導される折に、小集団によるグループ活動を、それぞれどの程度用いましたか。回答欄の左にあげた各活動ごとに、右の4つの選択肢の中からあてはまるものを選んで()の中にその記号を記入して下さい。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 終始、あるいはしばしば
朝の会 ()	用いた
帰りの会 ()	2. 時々用いた
給食・清掃 ()	3. 稀にしか用いなかった
係活動 ()	4. 全く用いなかった
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	

<2><1>の質問で1,2,3のいずれかの答えをされた活動についておたずねします。各質問ともに、回答欄の左にあげた各活動ごとに、右の選択肢の中からあてはまるものを選んで()の中にその記号を記入して下さい。<1>で4と答えた活動については空欄にしておいて下さい。

- (1) 各活動で用いたグループにリーダーはいましたか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. リーダーはいた
朝の会 ()	2. リーダーはいなかった
帰りの会 ()	
給食・清掃 ()	
係活動 ()	
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	

- (2) リーダーがいたと答えた方は、それをどのようにして決めましたか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 予め生徒が決める
朝の会 ()	2. 予め教師が決める
帰りの会 ()	3. 自然に生徒の中から決まる
給食・清掃 ()	
係活動 ()	4. ある時間を過ぎてから教師が決める
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	5. その他 ()

- (3) そのリーダーは固定的ですか、それとも持ち回り制ですか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 一旦決めたリーダーは、原則としてグループがえま
朝の会 ()	で固定している
帰りの会 ()	2. リーダーはグループ内で
給食・清掃 ()	持ち回りである
係活動 ()	3. その時々に応じてリーダー
遠足 ()	はかわる
修学旅行・野外活動 ()	4. その他 ()

- (4) リーダーの役割について、あてはまるものを選んで下さい。選択は1つ以上でもかまいません。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 司会者
朝の会 ()	2. 教師との連絡
帰りの会 ()	3. グループのまとめ役
給食・清掃 ()	4. グループの監督者
係活動 ()	5. グループの責任者
遠足 ()	6. その他 ()
修学旅行・野外活動 ()	

- (5) 各活動での構成人数は何人位でしたか。()内に人数を記入して下さい。

ホームルーム ()人	係活動 ()人
朝の会 ()人	遠足 ()人
帰りの会 ()人	修学旅行・ ()人
給食・清掃 ()人	野外活動 ()人

- (6) 各活動でのグループの性構成は、1,2いずれの形をとりましたか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 男・女別々のグループ
朝の会 ()	2. 男・女混合のグループ
帰りの会 ()	
給食・清掃 ()	
係活動 ()	
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	

- (7) グループの編成は主にだれが行ないましたか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 教師が編成する
朝の会 ()	2. 生徒が編成する
帰りの会 ()	3. 教師と生徒が相談して編成する
給食・清掃 ()	
係活動 ()	4. その他 ()
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	

(8) グループの編成はどのような基準で行ないましたか。1つ以上選択してもかまいません。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 対人関係を重視する
朝の会 ()	2. 当該活動の技能のバランスを重視する
帰りの会 ()	3. リーダーを決めてからグループを決める
給食・清掃 ()	4. 好きな者同士が集まるようにする
係活動 ()	5. 名簿順や座席位置で決める
遠足 ()	6. くじびきなどをする
修学旅行・野外活動 ()	7. その他 ()

(9) グループの編成がえはどの位の期間で行ないましたか。ただし「遠足」、「修学旅行・野外活動」についてのお答えは不要です。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 毎日かえる
朝の会 ()	2. 1週間位でかえる
帰りの会 ()	3. 1カ月位でかえる
給食・清掃 ()	4. 1学期位でかえる
係活動 ()	5. 半年位でかえる
	6. 1年間かえない
	7. 必要に応じて適宜かえる
	8. その他 ()

(10) グループの編成がえはどのような時に行ないましたか。「遠足」、「修学旅行・野外活動」についてのお答えは不要です。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 自動的に決まった期間が過ぎたとき
朝の会 ()	2. 教師がかえるべきだと判断したとき
帰りの会 ()	3. 生徒からの希望が多くなったとき
給食・清掃 ()	4. グループ活動を行なうたびごとに新たに編成する
係活動 ()	5. その他 ()

<3>各活動□□□グループ活動を用いる意義として、どのようなものをお考えになりましたか。各活動についてあてはまるものを右の選択肢から選んで、その記号を()に記入して下さい。選択は1つ以上でもかまいません

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 生活指導領域では、グループ活動の効果をより多く引き出すことができる
朝の会 ()	2. 活動の性質上、グループに分けなくてはできない
帰りの会 ()	3. よい人間関係、仲間意識を育てられる
給食・清掃 ()	4. 道具の数など、物理的な都合に合わせられる
係活動 ()	
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	

5. グループに献身することの意義を体験できる
6. 学習指導領域にグループ活動を取り入れるための準備、訓練になる
7. 活動が能率的にできる
8. リーダー育成の場として適切である
9. 一人一人の参加の程度を高めることができる
10. 協調性を育てることができる
11. 教師の意図が徹底できる
12. 責任感の育成をはかることができる
13. 主体性の育成をはかることができる
14. グループの一員として働くことの喜びを体験させることができる
15. 活動に対する満足度が高まる
16. その他 ()

<4>グループ活動を用いたことによる本年度の成果について以下でおたずねします。各活動についてあてはまるものを右の選択肢から選んでその記号を()に記入して下さい。

(1) 活動の効果の面ではどのように評価されましたか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 非常に能率が良かった
朝の会 ()	2. 比較的能率が良かった
帰りの会 ()	3. 余り能率は良くなかった
給食・清掃 ()	
係活動 ()	
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	

(2) 子どもたちの態度面(たとえば協調性、主体性、積極性など)での成長についてはどのように評価されましたか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 著しく成長した
朝の会 ()	2. やや成長した
帰りの会 ()	3. 変わらなかった
給食・清掃 ()	
係活動 ()	
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	

(3) グループ活動を今後も用いるつもりですか。

活動	選択肢
ホームルーム ()	1. 用いようと思っている
朝の会 ()	2. やめようと思っている
帰りの会 ()	3. 検討中である
給食・清掃 ()	
係活動 ()	
遠足 ()	
修学旅行・野外活動 ()	